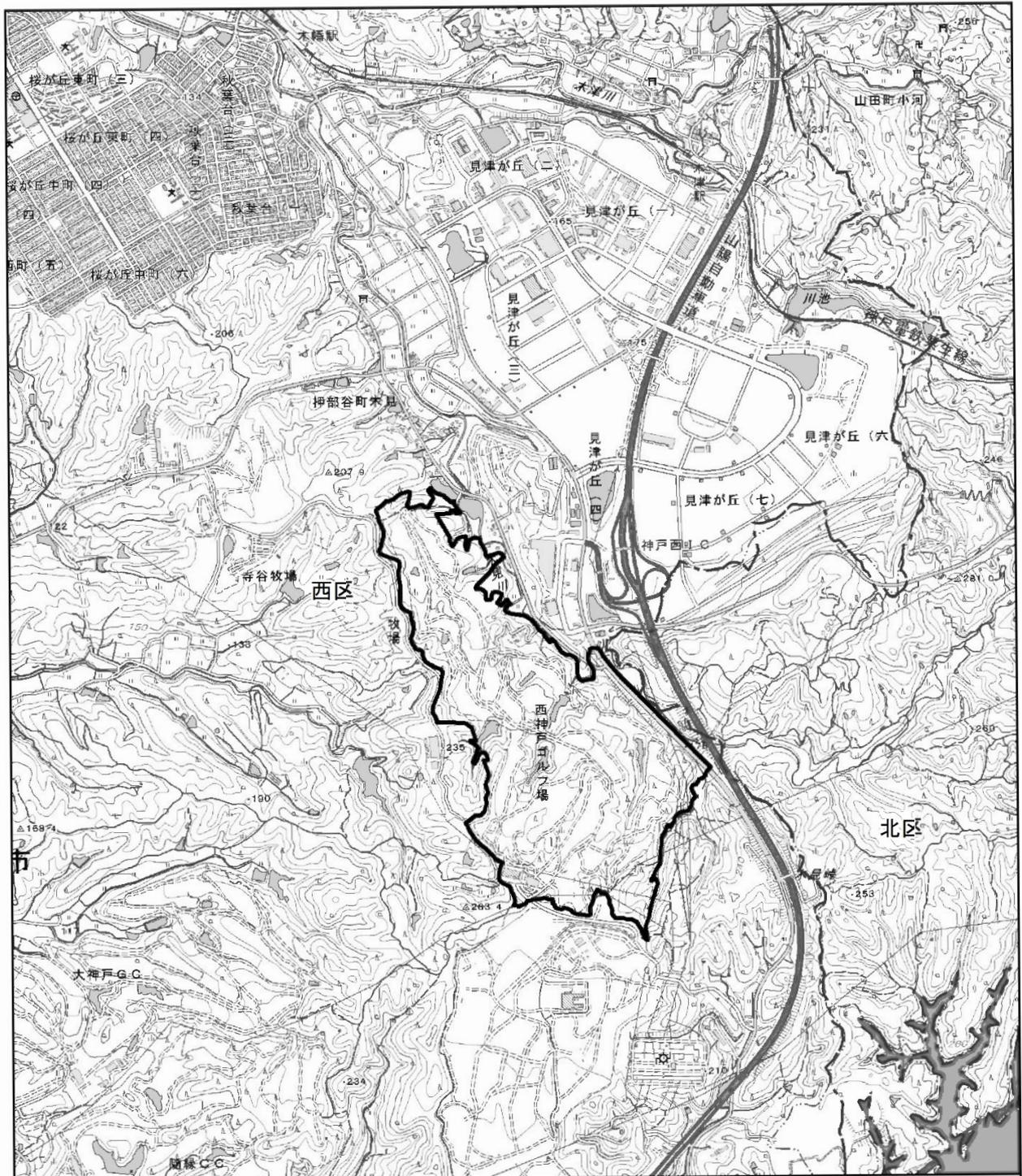


## 5. 事業実施区域及びその周囲の概況

### 5.1. 調査対象地域の設定

事業実施区域及びその周囲の概況に係る調査対象地域は、神戸市西区及び北区のうち主に図5.1-1に示す範囲を対象とし、既存資料を基に情報の収集・整理を行った。

なお、景観の状況については図5.1-2に示す範囲を、統計資料等の行政単位による情報については神戸市西区及び北区全域を対象とした。



事業実施区域



1:25,000

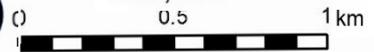
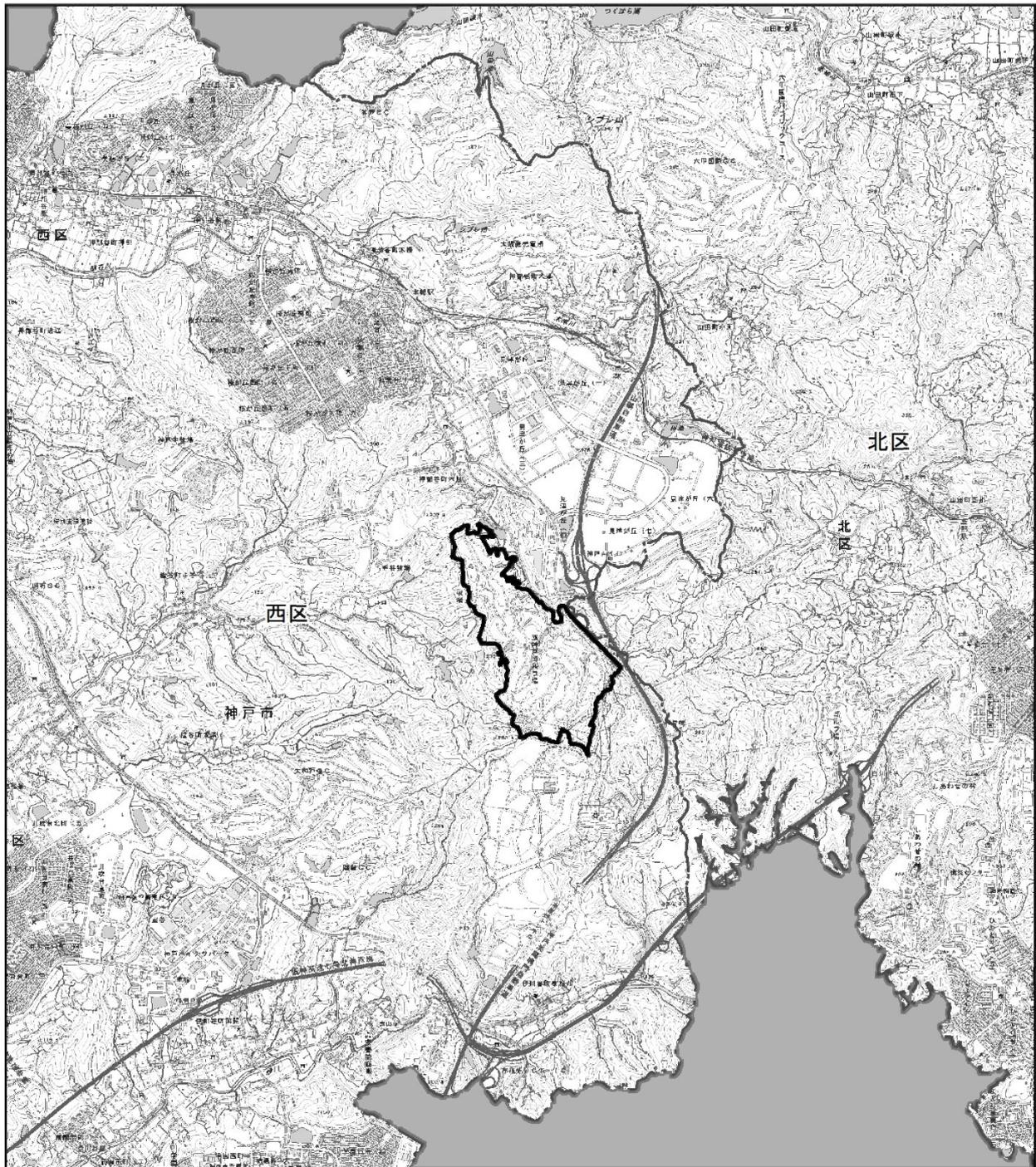


図5.1-1 調査対象地域の範囲



 事業実施区域



図5.1-2 調査対象地域の範囲（景観の状況）

## 5.2. 地域の自然的状況

### 5.2.1. 地象

#### (1) 地形

事業実施区域及びその周囲の地形分類図は、図5.2-1に示すとおりである。

事業実施区域の大部分が、丘陵地上の人工改変地となっている。

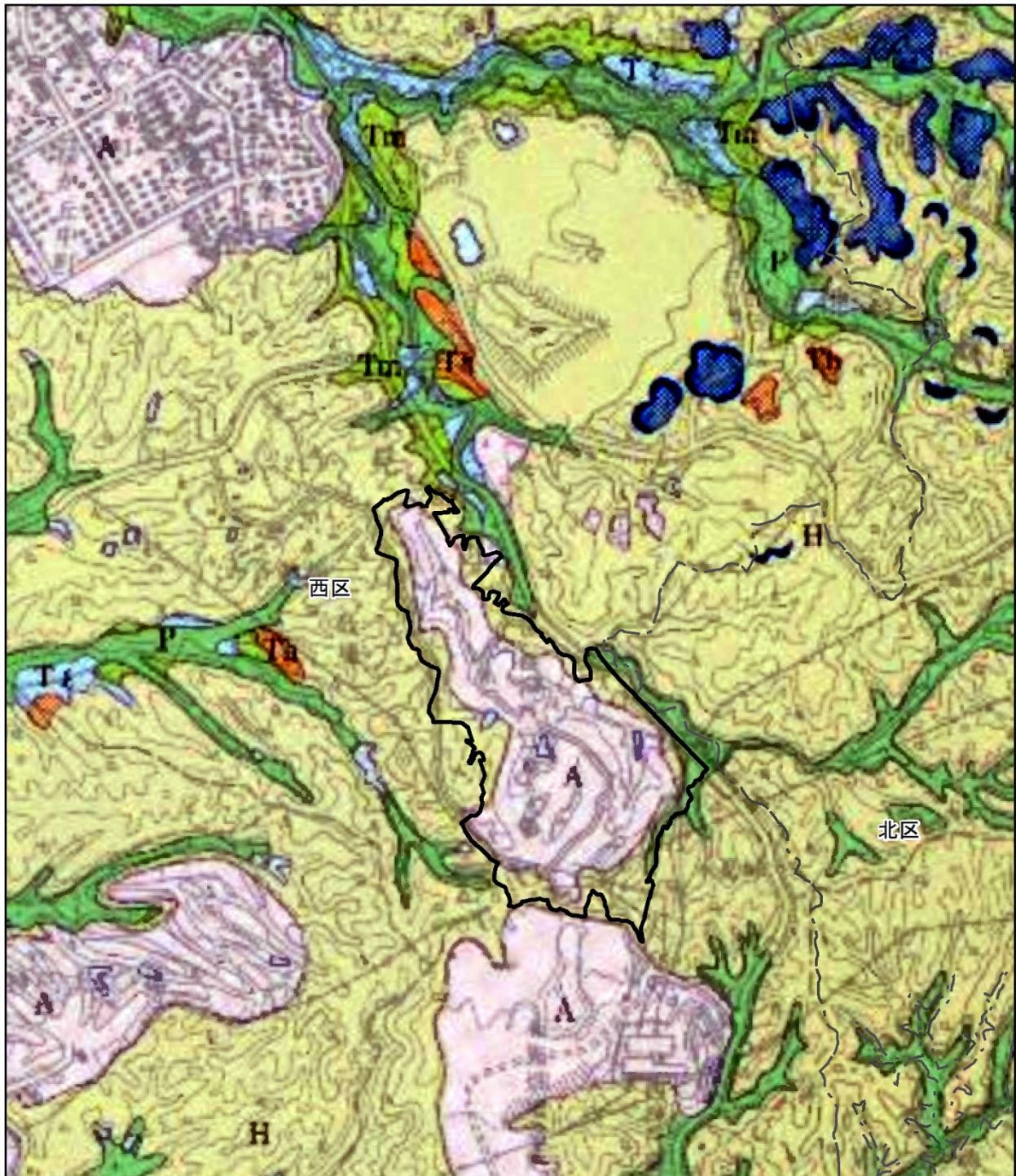
事業実施区域の周囲には、丘陵地及び人工改変地の他、木見川及び櫛谷川に沿って段丘が分布している。

#### (2) 地質

事業実施区域及びその周囲の表層地質図は、図5.2-2に示すとおりである。

事業実施区域の大部分が、「砂岩・凝灰岩・礫岩および泥岩」であり、一部に「礫および砂」、「非海成粘土・砂・礫および火山灰」及び「凝灰岩・礫岩・砂岩および泥岩」が分布している。

事業実施区域の周囲には、主に「砂岩・凝灰岩・礫岩および泥岩」、「礫および砂」、「非海成粘土・砂・礫および火山灰」及び「凝灰岩・礫岩・砂岩および泥岩」が分布している。



事業実施区域

丘陵地

II 丘陵地

段丘

T<sub>h</sub> 高位段丘

T<sub>m</sub> 中位段丘

T<sub>l</sub> 低位段丘

沖積低地

P 氾濫原・谷底平野

その他

急崖

A 人工改変地

滑落崖・棚田

出典) 「1/50,000土地分類基本調査  
(地形分類図)「神戸」兵庫県  
(平成9年)」(国土交通省)  
(<https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/inspect.html>)



1:25,000

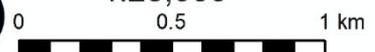
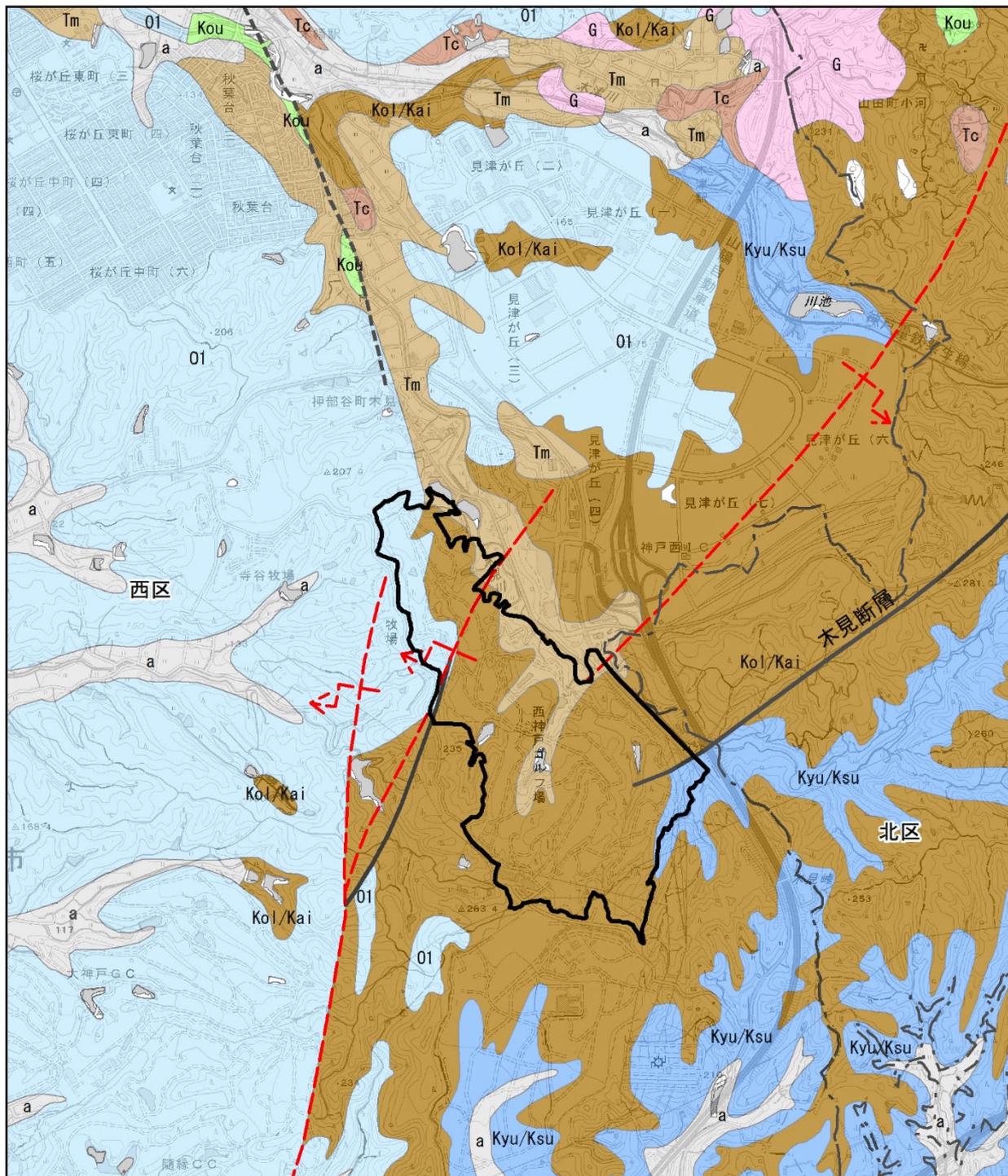


図5.2-1 地形分類図



**事業実施区域**

未固結堆積物	新生代	第四紀	完新世	a	泥・シルト・砂・礫などからなる堆積物（沖積層）
		後期更新	Tm	礫および砂（中段丘）	
固結堆積物	新生代	古第三紀	鮮新世	O1	非海成粘土・砂・礫および火山灰（下部垂層群および未区分大飯層群下部）
			後期始新世・前期漸新世	Kou	凝灰岩・砂岩・泥岩および礫岩（淡河累層上部）
			Kol/Kai	砂岩・凝灰岩・礫岩および泥岩（淡河累層下部および藍部累層）	
			Kyu/Ksu	凝灰岩・礫岩・砂岩および泥岩（吉川累層上部および白川累層上部）	
深成岩	古生代～中生代	石炭紀・ジュラ紀	Tc	粘板岩・頁岩・砂岩・チャートに緑色岩・石灰岩のレンズを伴う地層群（山田コンプレックス）	
	中生代～新生代	後期白亜紀～古第三紀	G	黒雲母花崗岩（六甲花崗岩）	

	断層
	伏在断層
	撓曲（フレクチャー）

出典 「1/50,000土地分類基本調査（表層地質図）「神戸」兵庫県（平成9年）」（国土交通省）  
<https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/inspect.html>

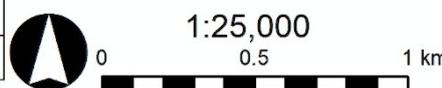


図5.2-2 表層地質図

### (3) 重要な地形及び地質

重要な地形及び地質の選定基準は、表5.2-1に示すとおりである。

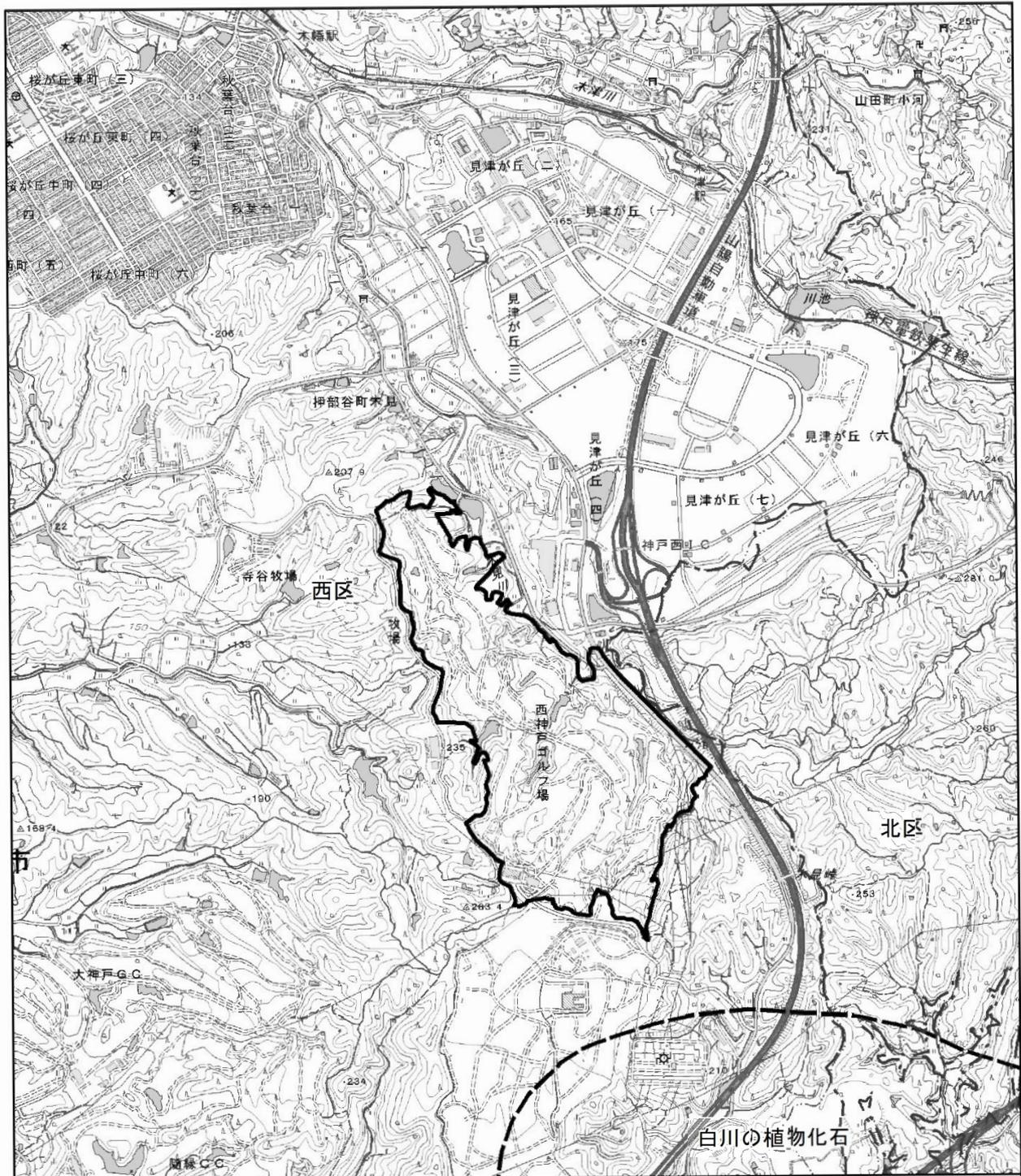
事業実施区域及びその周囲で確認された重要な地形及び地質は、表5.2-2及び図5.2-3に示すとおりである。

表5.2-1 重要な地形及び地質の選定基準

番号	法律及び文献名等	選定基準のカテゴリー
1	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号)	国名：国指定の名勝 国天：国指定の天然記念物
	「兵庫県文化財保護条例」 (昭和39年4月1日兵庫県条例第58号)	県名：県指定の名勝 県天：県指定の天然記念物
	「神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例」 (平成9年3月31日神戸市条例第50号)	市名：市指定の名勝 市天：市指定の天然記念物
2	「環境の保全と創造に関する条例」 (平成7年7月18日兵庫県条例第28号)	郷土：郷土記念物
3	「日本の地形レッドデータブック第1集」 (日本の地形RDB作成委員会、平成12年)	①：日本の自然を代表する典型的かつ希少、貴重な地形 ②：①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形 ③：多数存在するが、なかでも最も典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形 ④：動物や植物の生育地として重要な地形
4	「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図」(環境庁、平成元年)	自然景観資源
5	「兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2011(地形・地質・自然景観・生態系)」(兵庫県、平成23年)	A：規模的、質的にもすぐれており、貴重性の程度が最も高く全国的価値に相当するもの B：Aランクに準ずるもので、地方的価値、都道府県的価値に相当するもの C：Bランクに準ずるもので、市町村的価値に相当するもの 要注目：温泉・湧水などのように地質以外の分野の自然現象のうち、地質との関連性があり重要とみなされたもの

表5.2-2 重要な地形及び地質

分類	名称	所在地	概要	選定基準				
				1	2	3	4	5
地層・化石	白川の植物化石	神戸市西区伊川谷町布施畑周辺	白川累層を主にして神戸層群中に数多く見られる流紋岩質凝灰岩層、および、その最下部に多産する植物化石。メタセコイヤ、ブナ、シュロなど約300種のもが知られている。また、凝灰岩層直下の泥岩層には珪化木の立木もみられる。					B



- 事業実施区域
- 地層・化石

出典) 「兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2011 (地形・地質・自然景観・生態系)」 (兵庫県、平成23年)



図5.2-3 重要な地形及び地質

## 5.2.2. 水象

### (1) 河川

事業実施区域及びその周囲の水系は、図5.2-4に示すとおりである。

事業実施区域は、明石川水系の木見川流域<sup>こうみ</sup>に位置し、事業実施区域に隣接して木見川が流れている。

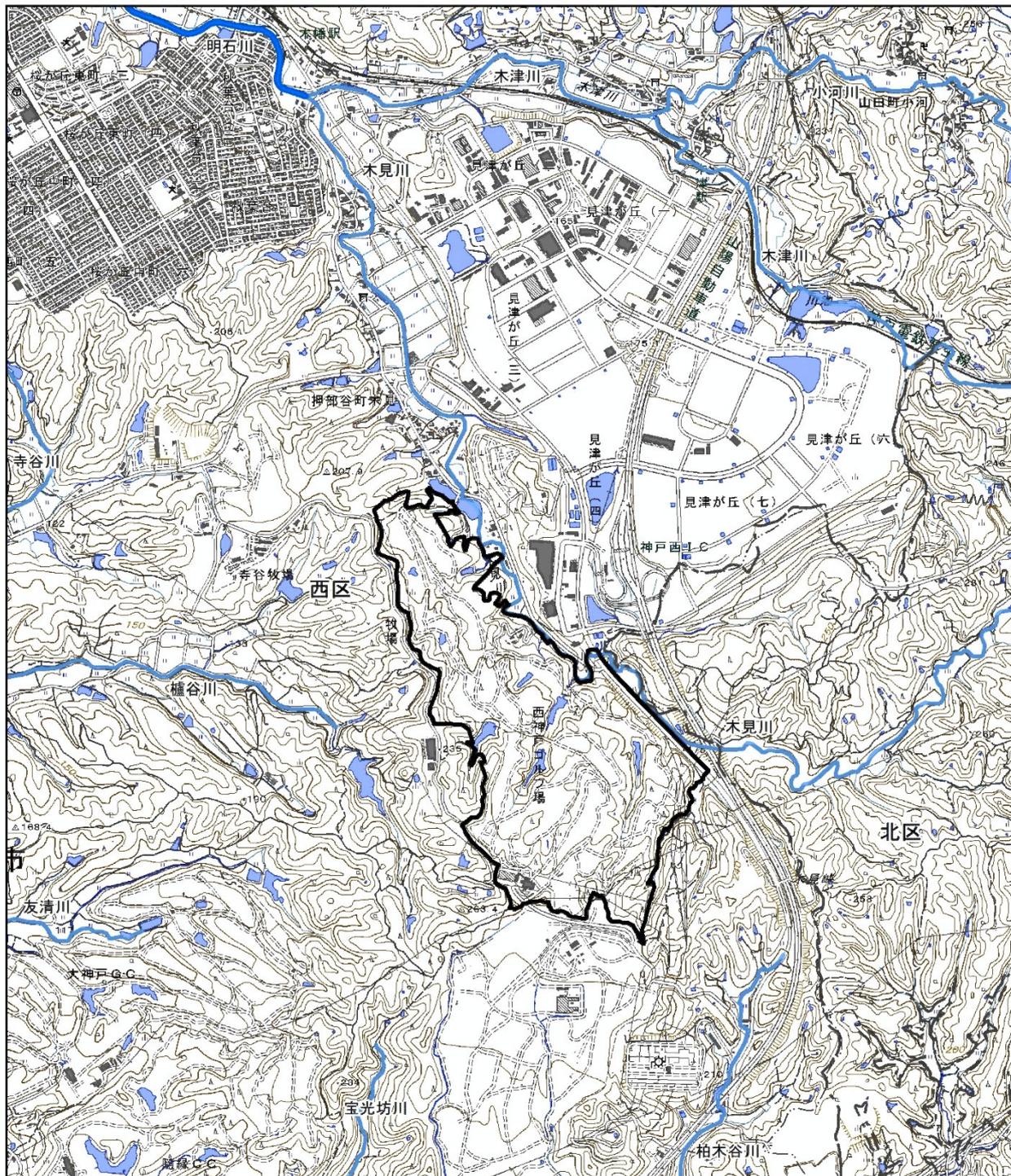
事業実施区域の周囲には、北側に小河川、西側に寺谷川、櫛谷川、友清川、南側に宝光坊川、柏木谷川（いずれも準用河川）が存在し、いずれの河川も明石川に合流する。

### (2) 湖沼、ため池

事業実施区域及びその周囲には、図5.2-4に示すとおり、小規模のため池が多数存在し、主に農業用水として利用されている。

### (3) 湧水

事業実施区域及びその周囲では、「名水百選」（環境省）、「平成の名水百選」（環境省）及び「湧水保全ポータルサイト」（環境省）において、「代表的な湧水」として選定された湧水は存在しない。



- 事業実施区域
- 二級河川
- 準用河川

出典) 「国土数値情報 (河川データ・湖沼データ)」 (国土交通省)  
 (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>)  
 (令和3年11月26日取得)

「押部谷 明石川水系流域資源マップ」  
 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

「パンフレット「こうべの川」」  
 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)



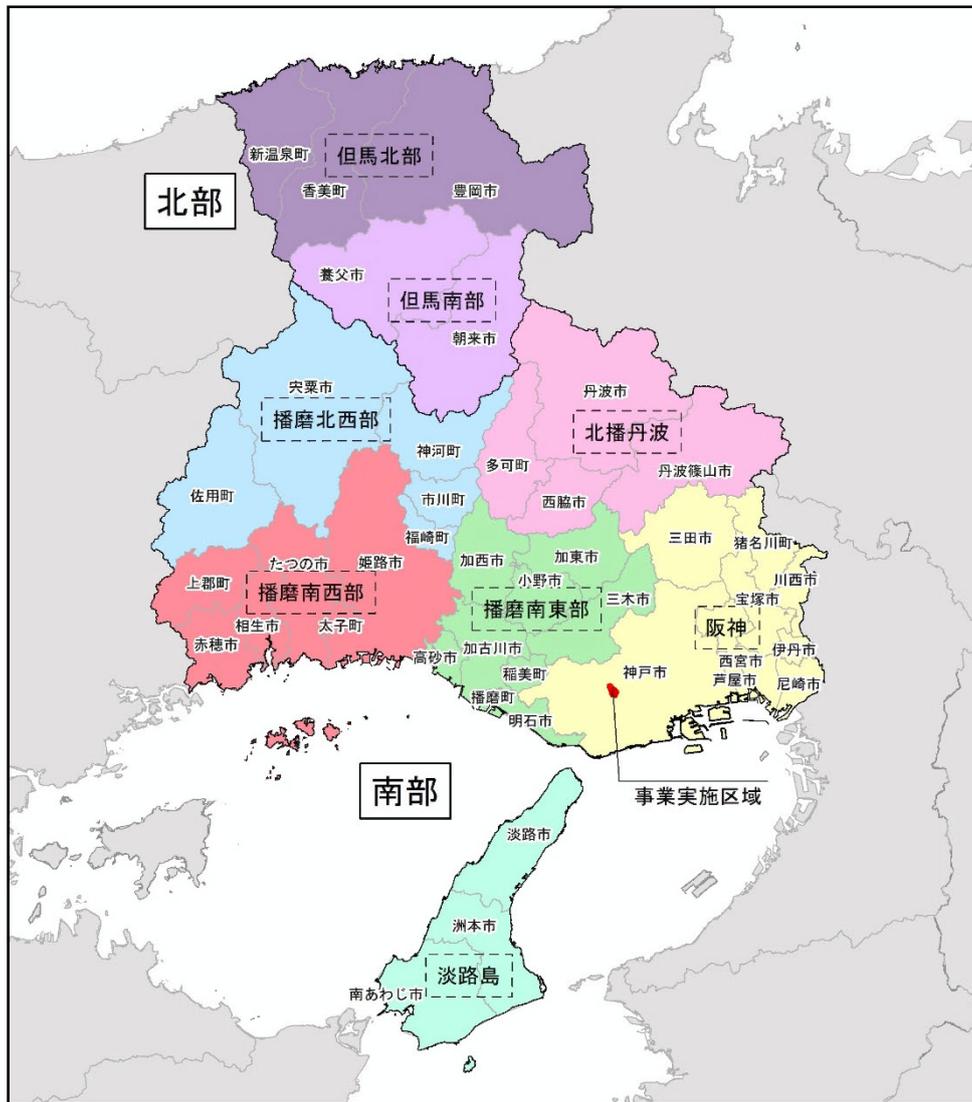
図5.2-4 水系図

### 5.2.3. 気象

#### (1) 気候の区分

事業実施区域が位置する兵庫県は、本州のほぼ中央に位置し、北部は日本海、南部は瀬戸内海に面している。兵庫県のほぼ中央を東西に横切る中国山地を境に、北側は冬に降水量の多い日本海岸気候区に、南側は乾燥した晴天が続き、雨も少なく温和な気候の瀬戸内気候区に分けられる。

事業実施区域は、図5.2-5に示すとおり兵庫県南東部に位置し、温暖・少雨が特徴の瀬戸内気候区に区分される。雨が少なく湿度が低いため乾燥し、海岸に近いので暑さや寒さも比較的しのぎやすくなっている。特に冬季は晴天が目立ち、内陸の平野部では放射冷却効果が大きく、夜から早朝の冷え込みが強くなる。



出典) 「気象警報、注意報や天気予報の発表区域」 (気象庁ホームページ、令和3年11月時点)

図5.2-5 兵庫県の気候区分

## (2) 気象の概要

事業実施区域に最も近い気象観測所は、図5.2-6に示すとおり三木地域気象観測所であり、過去5年間の観測結果は表5.2-3に示すとおりである。

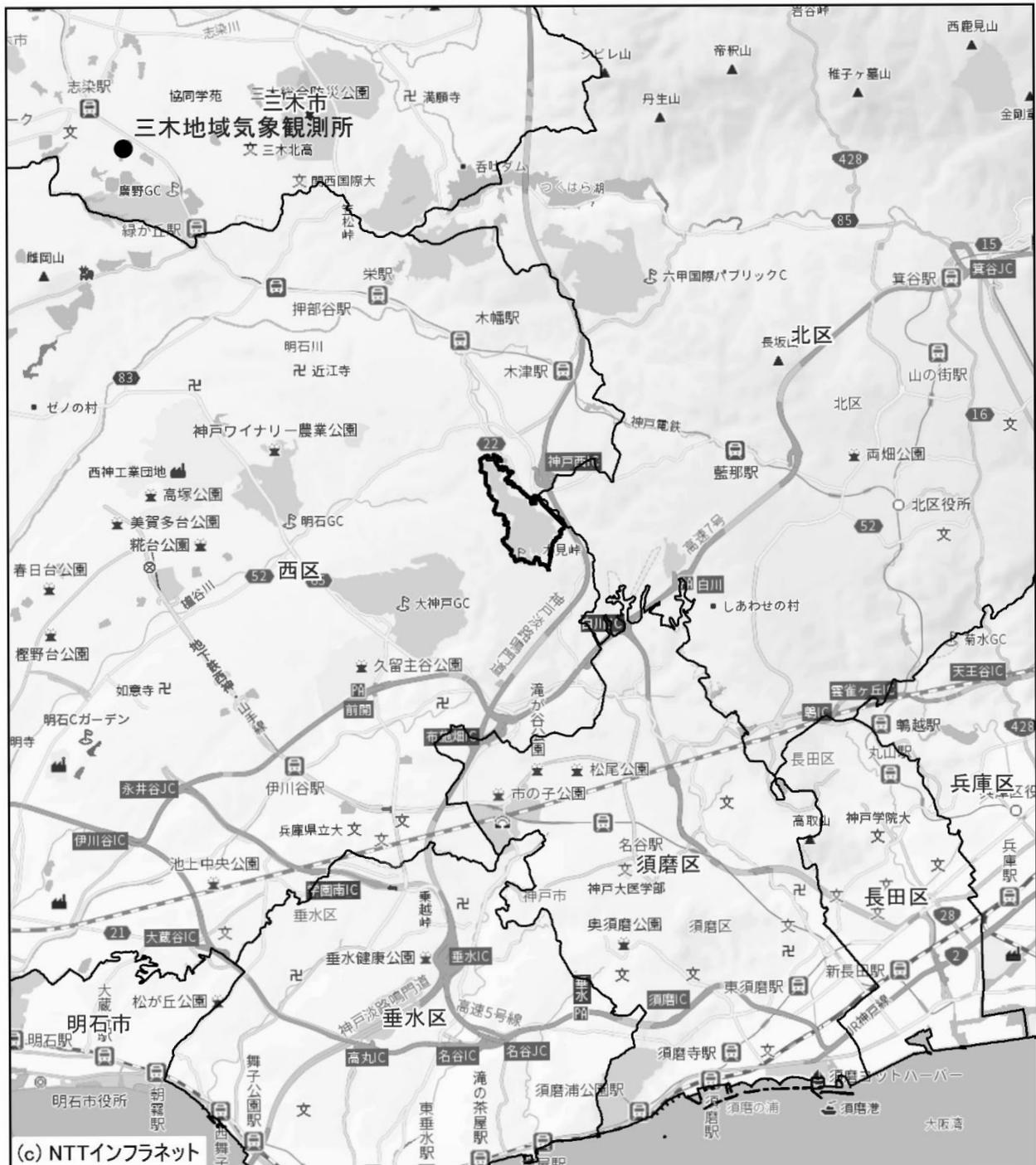
降水量については年ごとの変動があるが、その他の気象については5年間大きな変動はなく、日平均気温は15～16℃、平均風速は2.5m/s前後、日照時間は2,100h程度となっている。

表5.2-3 三木地域気象観測所における気象概況

年次	気温(℃)			降水量(mm)			風速(m/s)		日照時間(h)
	日平均	日最高	日最低	合計	日最大	1時間最大	平均	最大風速	
2016年	15.8	20.0	11.8	1,439.0	61.5	32.5	2.5	14.1	2,078.3
2017年	15.1	19.3	11.0	1,170.0	149.0	46.0	2.4	12.7	2,157.8
2018年	16.0	20.2	11.9	1,786.0	157.5	50.0	2.6	22.4	2,178.9
2019年	15.6	20.0	11.6	975.0	78.0	23.0	2.4	12.7	2,075.2
2020年	15.9	20.1	11.9	1,305.0	70.5	43.0	2.6	13.6	2,107.6

注) 三木地域気象観測所：三木市志染町広野

出典) 「気象庁過去の気象データ検索」(気象庁ホームページ、令和3年11月現在)



事業実施区域

● 気象観測所

出典) 「地域気象観測所一覧」  
(気象庁ホームページ、令和3年11月現在)

図5.2-6 三木地域気象観測所の位置

## 5.2.4. 植物

### (1) 植物相

事業実施区域及びその周囲においては、表5. 2-4に示すとおり、141科726種の植物が確認されている。

表5. 2-4(1) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典
1	シダ植物門	ヒカゲノカズラ目	ヒカゲノカズラ科	トウゲシバ	2、3
2	ヒカゲノカズラ綱			ホソバトウゲシバ	2
3	シダ植物門	トクサ目	トクサ科	スギナ	1、2、3
4	大葉シダ綱	ゼンマイ目	ゼンマイ科	ゼンマイ	2、3
5		コケシノブ目	コケシノブ科	アオホラゴケ	3
6				ホソバコケシノブ	2
7				コケシノブ	1
8				ハイホラゴケ	3
9		ウラジロ目	ウラジロ科	コシダ	1、2、3
10				ウラジロ	1、2、3
11		フサシダ目	カニクサ科	カニクサ	2、3
12		ウラボシ目	ホングウシダ科	ホラシノブ	3
13			コバノイシカグマ科	イヌシダ	2、3
14				イワヒメワラビ	3
15				フモトシダ	3
16				ワラビ	1、2、3
17			イノモトソウ科	ハコネシダ	1、2、3
18				イワガネゼンマイ	3
19				イワガネソウ	2、3
20				タチシノブ	3
21				オオバノイノモトソウ	2、3
22				イノモトソウ	2
23			チャセンシダ科	トラノオシダ	2、3
24			ヒメシダ科	ヒメワラビ	2、3
25				ゲジゲジシダ	2、3
26				コハシゴシダ	3
27				ハシゴシダ	3
28				ハリガネワラビ	2、3
29				ヤワラシダ	2、3
30				ミゾシダ	1、2、3
31			シシガシラ科	シシガシラ	2、3
32				コモチシダ	2
33			メシダ科	シケチシダ	2
34				ホソバイヌワラビ	2、3
35				ヤマイヌワラビ	3
36				ヒロハイヌワラビ	2、3
37				ホソバシケシダ	2、3
38				シケシダ	2、3
39				ヘラシダ	1
40				キヨタキシダ	2、3
41			オシダ科	ハカタシダ	3
42				リョウメンシダ	1、3
43				ヤマヤブソテツ	2、3
44				ヤブソテツ	2、3
45				ヤマイタチシダ	2、3
46				ベニシダ	2、3

表5. 2-4 (2) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典		
47	シダ植物門 大葉シダ綱	ウラボシ目	オシダ科	マルバベニシダ	3		
48				オオイタチシダ	2、3		
49				オオベニシダ	3		
50				クマワラビ	2、3		
51				キヨスミヒメワラビ	3		
52				トウゴクシダ	3		
53				ヒメイタチシダ	3		
54				オクマワラビ	2、3		
55				カタイノデ	2		
56				イノデ	2、3		
57				ジュウモンジシダ	1、2、3		
58				ウラボシ科		マメヅタ	3
59	ノキシノブ	2、3					
60	ミツデウラボシ	2、3					
61	種子植物門 裸子植物亜門	マツ目	マツ科	モミ	2		
62				アカマツ	1、2、3		
63		ナンヨウスギ目	マキ科	イヌマキ	2		
64		ヒノキ目	ヒノキ科	ヒノキ	2、3		
65				スギ	2、3		
66				ネズミサシ	2、3		
67			イチイ科	イヌガヤ	2、3		
68				カヤ	2、3		
69	種子植物門 被子植物亜門		スイレン目	ジュンサイ科	ジュンサイ	2、3	
70		スイレン科		ヒツジグサ	2		
71		シキミ目	マツブサ科	シキミ	2、3		
72				サネカズラ	2、3		
73				マツブサ	2、3		
74		センリョウ目	センリョウ科	フタリシズカ	2、3		
75		コショウ目	ドクダミ科	ドクダミ	1、2、3		
76			ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	2		
77				アリマウマノスズクサ	2、3		
78		モクレン目	モクレン科	コブシ	2、3		
79				ホオノキ	2、3		
80		クスノキ目	クスノキ科	クスノキ	3		
81				ヤブニッケイ	2、3		
82				カナクギノキ	3		
83				ヤマコウバシ	2、3		
84				クロモジ	2、3		
85				カゴノキ	2、3		
86				アオガシ	2		
87				シロダモ	2、3		
88	種子植物門 被子植物亜門 単子葉類			ショウブ目	ショウブ科	セキショウ	2
89				オモダカ目	サトイモ科	マムシグサ	2
90		ムロウテンナンショウ	2、3				
91		アオウキクサ	2				
92		カラスビシャク	2				
93		ウキクサ	2				
94		ミジンコウキクサ	2				
95		オモダカ科	ヘラオモダカ		2		
96		トチカガミ科	スブタ		2		
97			ミズオオバコ		2		
98			セキショウモ		2		
99		ヒルムシロ科	コバノヒルムシロ	2			
100		ヤマノイモ目	キンコウカ科	ノギラン	2、3、4		

表5. 2-4(3) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典
101	種子植物門 被子植物亜門 単子葉類	ヤマノイモ目	ヤマノイモ科	ヤマノイモ	2、3
102				カエデドコロ	2、3
103				ヒメドコロ	2、3
104				オニドコロ	2、3
105		タコノキ目	ホンゴウソウ科	ウエマツソウ	3
106		ユリ目	シュロソウ科	シライトソウ	3
107				ショウジョウバカマ	2
108			イヌサフラン科	ホウチャクソウ	2、3
109				チゴユリ	2、3
110			サルトリイバラ科	サルトリイバラ	1、2、3
111			ユリ科	ウバユリ	2、3
112				ササユリ	2、3、4
113				オニユリ	2
114				コオニユリ	2
115				ヤマジノホトトギス	2、3
116	ヤマホトトギス			2	
117	クサスギカズラ目	ラン科		エビネ	2、3
118			ギンラン	3	
119			キンラン	3	
120			シュンラン	2、3	
121			ツチアケビ	2、3	
122			カキラン	2	
123			コ克蘭	2、3	
124			オオバノトンボソウ	2、3	
125			ネジバナ	2、3	
126			アヤメ科	シャガ	3
127				ニワゼキショウ	3
128			ススキノキ科	ノカンゾウ	2
129				ヤブカンゾウ	2
130			ヒガンバナ科	ノビル	2
131		ヒガンバナ		2、3	
132		クサスギカズラ科	カンザシギボウシ	3	
133			オオバギボウシ	2	
134			ヒメヤブラン	3	
135			ヤブラン	3	
136			ジャノヒゲ	2、3	
137			ナガバジャノヒゲ	2、3	
138			ミヤマナルコユリ	2、3	
139			キチジョウソウ	2	
140			オモト	3	
141			ヤシ目	ヤシ科	シュロ
142		ツユクサ目	ツユクサ科	ツユクサ	2、3
143				イボクサ	2、3
144			ミズアオイ科	コナギ	2、3
145		ショウガ目	ショウガ科	ミョウガ	2
146		イネ目	ガマ科	ミクリ	2
147				ナガエミクリ	3
148				ヒメガマ	2
149				ガマ	2、3
150	ホシクサ科		ニッポンイヌノヒゲ	3	
151	イグサ科		ハナビゼキショウ	2、3	
152			イグサ	2、3	
153			コウガイゼキショウ	2	
154			クサイ	2、3	

表5. 2-4 (4) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典
155	種子植物門	イネ目	イグサ科	ハリコウガイゼキショウ	2、3
156	被子植物亜門			スズメノヤリ	3
157	単子葉類		カヤツリグサ科	ハタガヤ	2
158				マツバスゲ	3
159				ショウジョウスゲ	2
160				ケタガネソウ	3
161				ミヤマシラスゲ	3
162				ヒメカンスゲ	2、3
163				カサスゲ	2
164				マスクサ	3
165				ジュズスゲ	2、3
166				ヒゴクサ	2、3
167				テキリスゲ	2、3
168				ヒメミコシガヤ	3
169				ヒカゲスゲ	3
170				ナキリスゲ	2、3
171				アオスゲ	3
172				タチスゲ	3
173				ゴウソ	2、3
174				ヒメシラスゲ	2
175				カンスゲ	2
176				アワボスゲ	3
177				ササノハスゲ	2、3
178				ヒメモエギスゲ	3
179				コカンスゲ	2
180				タガネソウ	2
181				ニシノホンモンジスゲ	2
182				ヤワラスゲ	2、3
183				モエギスゲ	3
184				ヒメクグ	3
185				タマガヤツリ	2、3
186				カヤツリグサ	2
187				ハリイ	2、3
188				シカクイ	2、3
189				コアゼテンツキ	2
190				ノテンツキ	2、3
191				テンツキ	2、3
192				ヒデリコ	2、3
193				ヤマイ	2、3
194			イトイヌノハナヒゲ	3	
195			コイヌノハナヒゲ	3	
196			イヌノハナヒゲ	2	
197			ホタルイ	2、3	
198			カンガレイ	2	
199			アブラガヤ	2、3	
200			イネ科	ヌカボ	3
201				コヌカグサ	2、3
202				クロコヌカグサ	2
203				ヒメコヌカグサ	3
204				メリケンカルカヤ	2、3
205				コブナグサ	2、3
206				トダシバ	2、3
207				カラスムギ	3
208				カズノコグサ	2

表5. 2-4(5) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典
209	種子植物門	イネ目	イネ科	イヌムギ	2、3
210	被子植物亜門			スズメノチャヒキ	2、3
211	単子葉類			ノガリヤス	2、3
212				カモガヤ	2、3
213				メヒシバ	2、3
214				アキメヒシバ	2、3
215				イヌビエ	2、3
216				オヒシバ	2、3
217				アオカモジグサ	2、3
218				カモジグサ	2、3
219				シナダレスズメガヤ	2、3
220				カゼクサ	2、3
221				トボシガラ	3
222				ドジョウツナギ	3
223				チガヤ	2、3
224				チゴザサ	1、2、3
225				ササガヤ	2
226				アゼガヤ	2
227				ネズミムギ	2
228				ホソムギ	3
229				ササクサ	2、3
230				コメガヤ	2、3
231				アシボソ	2、3
232				オギ	2
233				ススキ	1、2、3
234				コチヂミザサ	2
235				ケチヂミザサ	2
236				ヌカキビ	2、3
237				シマスズメノヒエ	3
238				スズメノヒエ	2、3
239				チカラシバ	2、3
240				ヨシ	2、3
241				ツルヨシ	2
242				モウソウチク	2、3
243				ハチク	2、3
244				マダケ	1、2、3
245				ネザサ	1、2、3
246				ケネザサ	2、3
247				コンゴウタケ	3
248				シブヤザサ	3
249				メダケ	1、2
250				ミゾイチゴツナギ	3
251				スズメノカタビラ	2、3
252				ナガハグサ	2
253				イチゴツナギ	2、3
254				ウキシバ	2
255				ヤダケ	2
256				ハイヌメリグサ	2
257				スズタケ	2
258				サイヨウザサ	3
259				オニウシノケグサ	2、3
260				アキノエノコログサ	3
261				キンエノコロ	2
262				エノコログサ	2

表5. 2-4 (6) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典
263	種子植物門 被子植物亜門 単子葉類	イネ目	イネ科	ムラサキエノコロ	2
264				セイバンモロコシ	2
265				ネズミノオ	3
266				メガルカヤ	2
267				カニツリグサ	2、3
268				ナギナタガヤ	3
269				マコモ	2
270				シバ	2
271	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	キンポウゲ目	ケシ科	タケニグサ	3
272			アケビ科	アケビ	2、3
273				ミツバアケビ	2、3
274				ムベ	2、3
275			ツツラフジ科	アオツツラフジ	2、3
276				ツツラフジ	3
277			メギ科	ナンテン	2、3
278			キンポウゲ科	ボタンヅル	1、2、3
279				ハンショウヅル	2、3
280				センニンソウ	2、3
281		ウマノアシガタ		2	
282		キツネノボタン		2、3	
283		ヒメウズ		2	
284		アキカラマツ		2	
285		ヤマモガシ目	アワブキ科	アワブキ	2、3
286		ユキノシタ目	ユキノシタ科	アカショウマ	2
287			ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	3
288			アリノトウグサ科	アリノトウグサ	2、3
289		ブドウ目	ブドウ科	ノブドウ	2、3
290				キレハノブドウ	3
291				ツタ	2、3
292				エビヅル	2
293	サンカクヅル			2、3	
294	アマヅル			2、3	
295	マメ目			マメ科	ネムノキ
296		イタチハギ	2、3		
297		ヤブマメ	2、3		
298		ホドイモ	3		
299		ゲンゲ	2、3		
300		ジャケツイバラ	2、3		
301		エニシダ	2		
302		アレチヌスビトハギ	2		
303		ノササゲ	2、3		
304		ツルマメ	2		
305		フジカンゾウ	2		
306		ケヤブハギ	3		
307		ヌスビトハギ	2、3		
308		ヤブハギ	2		
309		コマツナギ	2、3		
310		ヤハズソウ	2、3		
311		ヤマハギ	2、3		
312		メドハギ	2、3		
313		マルバハギ	2、3		
314		ネコハギ	2、3		
315		ビッチュウヤマハギ	3		
316	ミヤコグサ	2、3			

表5. 2-4(7) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典		
317	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	マメ目	マメ科	イヌエンジュ	2、3		
318				クズ	1、2、3		
319				オオバタンキリマメ	2、3		
320				ハリエンジュ	2、3		
321				コメツブツメクサ	3		
322				ムラサキツメクサ	3		
323				シロツメクサ	2、3		
324				スズメノエンドウ	2		
325				ヤハズエンドウ	2、3		
326				ヤブツルアズキ	3		
327				フジ	1、2、3		
328				ナツフジ	2		
329				ヒメハギ科	ヒメハギ	2、3	
330					カキノハグサ	3	
331				バラ目	グミ科	ツルグミ	2、3
332						アリماغミ	1、2、3
333						ナワシログミ	2、3
334					クロウメモドキ科	クマヤナギ	2、3
335						イツノキ	2、3
336						ケケンボナシ	2、3
337					ニレ科	アキニレ	2
338						ケヤキ	2
339					アサ科	ムクノキ	2、3
340						エノキ	2、3
341						カナムグラ	2
342					クワ科	ヒメコウゾ	2、3
343						コウゾ	1
344						クワクサ	2、3
345						イタビカズラ	2、3
346		ヤマグワ	2、3				
347		イラクサ科	ヤブマオ		2、3		
348			メヤブマオ		2、3		
349			アカソ		2、3		
350			コアカソ		2、3		
351			ミズ		2		
352			アオミズ		3		
353		バラ科	ヒメキンミズヒキ		3		
354	キンミズヒキ		2、3				
355	ザイフリボク		2				
356	アズキナシ		2				
357	ウラジロノキ		2、3				
358	ヤマザクラ		1、2、3				
359	カスミザクラ		2、3				
360	ビワ		2				
361	ダイコンソウ		2、3				
362	リンボク		2、3				
363	オオウラジロノキ		2、3				
364	イヌザクラ		3				
365	ウワミズザクラ		2、3				
366	カナメモチ		2、3				
367	ミツバツチグリ		2				
368	ヘビイチゴ		2、3				
369	ヤブヘビイチゴ		3				
370	カマツカ		2、3				

表5. 2-4(8) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典		
371	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	バラ目	バラ科	ケカマツカ	3		
372				テリハノイバラ	2、3		
373				ノイバラ	2、3		
374				ミヤコイバラ	2、3		
375				フユイチゴ	2		
376				ビロードイチゴ	3		
377				クマイチゴ	2、3		
378				ミヤマフユイチゴ	3		
379				クサイチゴ	1、2、3		
380				ニガイチゴ	2、3		
381				モミジイチゴ	1、2、3		
382				ナワシロイチゴ	2、3		
383				ワレモコウ	3		
384				ナナカマド	2		
385				ブナ目	ブナ科	クリ	2、3
386						ツブラジイ	3
387						アカガシ	3
388						クヌギ	2、3
389						アラカシ	1、2、3
390						シラカシ	2、3
391		ウラジログシ	3				
392		コナラ	1、2、3				
393		ツクバネガシ	2				
394		アベマキ	1、2、3				
395		ヤマモモ科	ヤマモモ			2、3	
396		クルミ科	ノグルミ			2、3	
397		カバノキ科	ハンノキ			2、3	
398			オオバヤシヤブシ			2、3	
399			アカシデ	2			
400		ウリ目	ウリ科	アマチャヅル	3		
401				カラスウリ	2		
402				キカラスウリ	2		
403				スズメウリ	2、3		
404		ニシキギ目	ニシキギ科	ツルウメモドキ	2、3		
405				ニシキギ	3		
406				コマユミ	2、3		
407				ツリバナ	2、3		
408			マユミ	2			
409	カタバミ目	カタバミ科	カタバミ	2、3			
410			ムラサキカタバミ	2			
411	キントラノオ目	トウダイグサ科	エノキグサ	2			
412			オオニシキソウ	3			
413			アカメガシワ	2、3			
414			ヤマアイ	3			
415			シラキ	2、3			
416			コムカンソウ科	コバンノキ	2、3		
417		ヤナギ科	マルバヤナギ	3			
418			サイコクキツネヤナギ	2			
419		スマレ科	タチツボスミレ	2、3			
420			コスミレ	2			
421			ナガバタチツボスミレ	1、2、3			
422			ツボスミレ	2、3			
423			シハイスミレ	1、2、3			
424			オトギリソウ科	トモエソウ	2、3		

表5. 2-4(9) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典			
425	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	キントラノオ目	オトギリソウ科	オトギリソウ	2、3			
426				コケオトギリ	2、3			
427				アゼオトギリ	2			
428				サワオトギリ	3			
429		フウロソウ目	フウロソウ科	ゲンノショウコ	2、3			
430		フトモモ目	ミソハギ科	ミソハギ	2			
431				アカバナ科	ミズタマソウ	3		
432					アカバナ	2、3		
433					チョウジタデ	2		
434					ミズユキノシタ	2、3		
435					オオマツヨイグサ	2		
436					コマツヨイグサ	2		
437					ミツバウツギ目	ミツバウツギ科	ゴンズイ	2、3
438						キブシ科	キブシ	2、3
439					ムクロジ目	ウルシ科	ヌルデ	2、3
440		ハゼノキ	2、3					
441		ヤマハゼ	2、3					
442		ヤマウルシ	2、3					
443		ムクロジ科	ヤマモミジ	2				
444			ウリカエデ	3				
445			イロハモミジ	2、3				
446			イタヤカエデ	2、3				
447		ミカン科	ウリハダカエデ	2				
448			マツカゼソウ	2				
449			カラスザンショウ	2、3				
450			フユザンショウ	3				
451		サンショウ	サンショウ	2、3				
452			イヌザンショウ	2、3				
453			ニガキ科	ニガキ		2、3		
454		アオイ目	ジンチョウゲ科	コショウノキ		2、3		
455				コガンピ		2		
456				ガンピ		2、3		
457				キガンピ	2			
458		アブラナ目	アブラナ科	ナズナ	3			
459				ニシノオオタネツケバナ	3			
460				タチタネツケバナ	2			
461				タネツケバナ	2、3			
462				オオバタネツケバナ	2、3			
463				マメグンバイナズナ	2			
464				イヌガラシ	2			
465				ハタザオガラシ	3			
466				ビャクダン目	ビャクダン科	カナビキソウ	3	
467		オオバヤドリギ科	マツグミ		2			
468		ナデシコ目	タデ科	イタドリ	2、3			
469				ミズヒキ	2、3			
470				サイコクヌカボ	2			
471				ヤナギタデ	3			
472	シロバナサクラタデ			3				
473	サナエタデ			2				
474	オオイヌタデ			3				
475	イヌタデ			2、3				
476	ハルタデ			2				
477	ヤノネグサ			1、2				
478	サクラタデ	2						

表5. 2-4(10) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	
479	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	ナデシコ目	タデ科	ハナタデ	3	
480				ミゾソバ	1、2、3	
481				スイバ	2	
482				アレチギンギン	2	
483				ギシギシ	2、3	
484				エゾノギンギン	3	
485			モウセンゴケ科	モウセンゴケ	3	
486			ナデシコ科	ノミノツヅリ	2	
487				ミミナグサ	2、3	
488				オランダミミナグサ	3	
489				ツメクサ	2、3	
490				ウシハコベ	2、3	
491				コハコベ	2	
492				ノミノフスマ	2	
493				ヒユ科	イノコヅチ	2、3
494					ヒナタイノコヅチ	2、3
495					シロザ	2
496			アカザ		3	
497			アリタソウ	2		
498			ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	2、3	
499			ザクロソウ科	ザクロソウ	2	
500			スベリヒユ科	スベリヒユ	2	
501			ミズキ目	ミズキ科	ヤマボウシ	1、2、3
502					クマノミズキ	2、3
503				アジサイ科	クサアジサイ	2、3
504					ウツギ	1、2、3
505					コガクウツギ	2、3
506					ヤマアジサイ	1、2
507					イワガラミ	2、3
508					ツツジ目	サカキ科
509			ヒサカキ	2、3		
510			カキノキ科	カキノキ		2、3
511			サクラソウ科	マンリョウ		3
512				ヤブコウジ		1、2、3
513				オカトラノオ		2、3、4
514				ヌマトラノオ		2、3
515				コナスビ		2、3
516				ツバキ科		ヤブツバキ
517			チャノキ			2、3
518			ナツツバキ			2
519			ハイノキ科	タンナサワフタギ		2
520			エゴノキ科	エゴノキ		2、3
521			マタタビ科	サルナシ		2、3
522				ウラジロマタタビ		2、3
523				マタタビ		2、3
524			リョウブ科	リョウブ		1、2、3
525			ツツジ科	ネジキ		1、2、3
526				ギンリョウソウモドキ		2
527				アセビ		1、2、3
528				イチヤクソウ		2、3
529	ヤマツツジ	2、3				
530	ヒカゲツツジ	2				
531	モチツツジ	1、2、3				
532	サイゴクミツバツツジ	2				

表5. 2-4(11) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典		
533	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	ツツジ目	ツツジ科	コバノミツバツツジ	1、2、3		
534				シロバナウンゼンツツジ	3		
535				ウンゼンツツジ	2		
536				シヤシヤンボ	2、3		
537				ウスノキ	2		
538				アクシバ	2		
539				ナツハゼ	1、2、3		
540				スノキ	3		
541				アオキ目	アオキ科	アオキ	1、2、3
542				リンドウ目	アカネ科	ヒメヨツバムグラ	2
543		クルマムグラ	2				
544		キクムグラ	3				
545		ヤマムグラ	2、3				
546		オオバノヤエムグラ	2				
547		ヤエムグラ	2、3				
548		ヨツバムグラ	3				
549		ツルアリドオシ	2、3				
550		ヘクソカズラ	1、2、3				
551		イナモリソウ	3				
552		アカネ	2、3				
553		リンドウ科	リンドウ			2、3	
554			フデリンドウ			3	
555	アケボノソウ		2、3				
556	センブリ		2、3				
557	ツルリンドウ		2、3				
558	キョウチクトウ科		イケマ		3		
559			ガガイモ		2、3		
560		テイカカズラ	2、3				
561		オオカモメヅル	2、3				
562		コバノカモメヅル	2				
563	ナス目	ヒルガオ科	ネナシカズラ		2		
564		ナス科	ヤマホオズキ		2		
565			イガホオズキ		2		
566			ヒヨドリジョウゴ		2、3		
567			アメリカイヌホオズキ		2、3		
568			ハダカホオズキ		2、3		
569	ムラサキ目	ムラサキ科	ホタルカズラ		2、3		
570			ハナイバナ	3			
571			ヤマルリソウ	3			
572			ミズタバコ	2			
573			キュウリグサ	2			
574	シソ目	モクセイ科	マルバアオダモ	2、3			
575			ネズミモチ	2、3			
576			イボタノキ	1、2、3			
577			ヒイラギ	2、3			
578		イワタバコ科	イワタバコ	1、2、3			
579		オオバコ科	ミズハコベ	3			
580			オオバコ	2、3			
581			タチイヌノフグリ	2			
582			オオイヌノフグリ	2、3			
583		アゼナ科	スズメノトウガラシ	2			
584			アメリカアゼナ	2、3			
585			アゼナ	2			
586		シソ科	キランソウ	2、3			

表5. 2-4(12) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典			
587	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	シソ目	シソ科	ジュウニヒトエ	2			
588				ニシキゴロモ	2、3			
589				ムラサキシキブ	2、3			
590				ヤブムラサキ	2、3			
591				クサギ	2、3			
592				クルマバナ	2			
593				トウバナ	2、3			
594				イヌトウバナ	3			
595				ヤマトウバナ	2、3			
596				カキドオシ	2、3			
597				ヤマハッカ	3			
598				ヒキオコシ	2			
599				アキチョウジ	2、3			
600				ヒメオドリコソウ	2			
601				ヒメジソ	2、3			
602				イヌコウジュ	3			
603				シソ	2			
604				ウツボグサ	3			
605				アキノタムラソウ	2、3			
606				ナツノタムラソウ	2			
607				キバナアキギリ	2			
608				タツナミソウ	2、3			
609				シソバタツナミ	2			
610				トウゴクシソバタツナミ	2、3			
611				ニガクサ	3			
612				ツルニガクサ	2、3			
613				サギゴケ科	トキワハゼ	2、3		
614				ハエドクソウ科	ハエドクソウ	2、3		
615				ハマウツボ科	キヨスミウツボ	2、3		
616					コシオガマ	2		
617					オオヒキヨモギ	2、3、4		
618				タヌキモ科	ノタヌキモ	2		
619					タヌキモ	2		
620				キツネノマゴ科	キツネノマゴ	2、3		
621				ノウゼンカズラ科	キササゲ	2		
622				モチノキ目	ハナイカダ科	ハナイカダ	1、2、3	
623						モチノキ科	ナナミノキ	2
624							イヌツゲ	2、3
625							タラヨウ	2、3
626							アオハダ	2、3
627							ソヨゴ	1、2、3
628							ウメモドキ	2、3
629				キク目	キキョウ科	ツリガネニンジン	2	
630	ツルニンジン	2、3						
631	バアソブ	2						
632	ミゾカクシ	2、3						
633	タニギキョウ	3						
634	キキョウ	2、3						
635	キク科	キッコウハグマ	2、3					
636		テイショウソウ	2、3					
637		ブタクサ	2、3					
638		ヨモギ	1、2、3					
639		イヌヨモギ	3					
640		ヒメヨモギ	2					

表5. 2-4(13) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典
641	種子植物門	キク目	キク科	シロヨメナ	3
642	被子植物亜門			ノコンギク	2、3
643	真正双子葉類			シュンジュギク	2
644				ミヤマヨメナ	3
645				シラヤマギク	2、3
646				イナカギク	2、3
647				シュウブンソウ	1、2、3
648				ヨメナ	2
649				オケラ	3
650				アメリカセンダングサ	2、3
651				コセンダングサ	3
652				ヤブタバコ	2、3
653				コヤブタバコ	2
654				ガンクビソウ	3
655				サジガンクビソウ	2、3
656				ヒメガンクビソウ	2、3
657				リュウノウギク	2、3
658				ノアザミ	2、3
659				ケショウアザミ	3
660				キセルアザミ	3
661				ヨシノアザミ	2、3
662				ベニバナボロギク	2、3
663				ヤクシソウ	2、3
664				タカサブロウ	2、3
665				ダンドボロギク	2、3
666				ヒメジョオン	2、3
667				アレチノギク	3
668				ヒメムカシヨモギ	2、3
669				オオアレチノギク	2、3
670				サワヒヨドリ	1、2、3
671				ヒヨドリバナ	2、3
672				チチコグサモドキ	2、3
673				チチコグサ	2、3
674				スイラン	2、3
675				ブタナ	3
676				ニガナ	2、3
677				ハナニガナ	2、3
678				オオジシバリ	2
679				アキノノゲシ	2、3
680				ヤマニガナ	2
681				ヤブタバコ	2
682				センボンヤリ	2、3
683				ムラサキニガナ	2、3
684				コウヤボウキ	1、2、3
685				フキ	2、3
686				ハハコグサ	3
687				ノボロギク	3
688				コメナモミ	2
689				メナモミ	2
690				セイタカアワダチソウ	2、3
691				アキノキリンソウ	2、3
692				オニノゲシ	3
693				ノゲシ	2、3
694				ホウキギク	2、3

表5. 2-4(14) 事業実施区域及びその周囲で生育情報が得られた植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	
695	種子植物門 被子植物亜門 真正双子葉類	キク目	キク科	カンサイタンポポ	2、3	
696				セイヨウタンポポ	3	
697				オオオナモミ	2	
698				オナモミ	2	
699				オニタビラコ	2、3	
700				セリ目	ウコギ科	ウド
701		タラノキ	2、3			
702		コシアブラ	3			
703		カクレミノ	3			
704		ケヤマウコギ	2			
705		ヤマウコギ	2、3			
706		ヤツデ	3			
707		タカノツメ	2、3			
708		キツタ	2、3			
709		オオチドメ	2、3			
710		ハリギリ	2、3			
711		セリ科	ミツバ			2、3
712			セリ			2、3
713			ウマノミツバ			2、3
714			ヤブジラミ		2、3	
715			オヤブジラミ		3	
716		マツムシソウ目	ガマズミ科		ガマズミ	2
717					コバノガマズミ	1、2、3
718				ミヤマガマズミ	2、3	
719			スイカズラ科	コツクバネウツギ	2、3	
720				ツクバネウツギ	2、3	
721	ウグイスカグラ			2、3		
722	ミヤマウグイスカグラ			3		
723	ヤマウグイスカグラ			2、3		
724	スイカズラ			2、3		
725	オミナエシ			2、3		
726	オトコエシ	2、3				
合計 141 科 726 種						

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「キーナの森 森林保全活動支援業務報告書」((公財)ひょうご環境創造協会、令和3年)

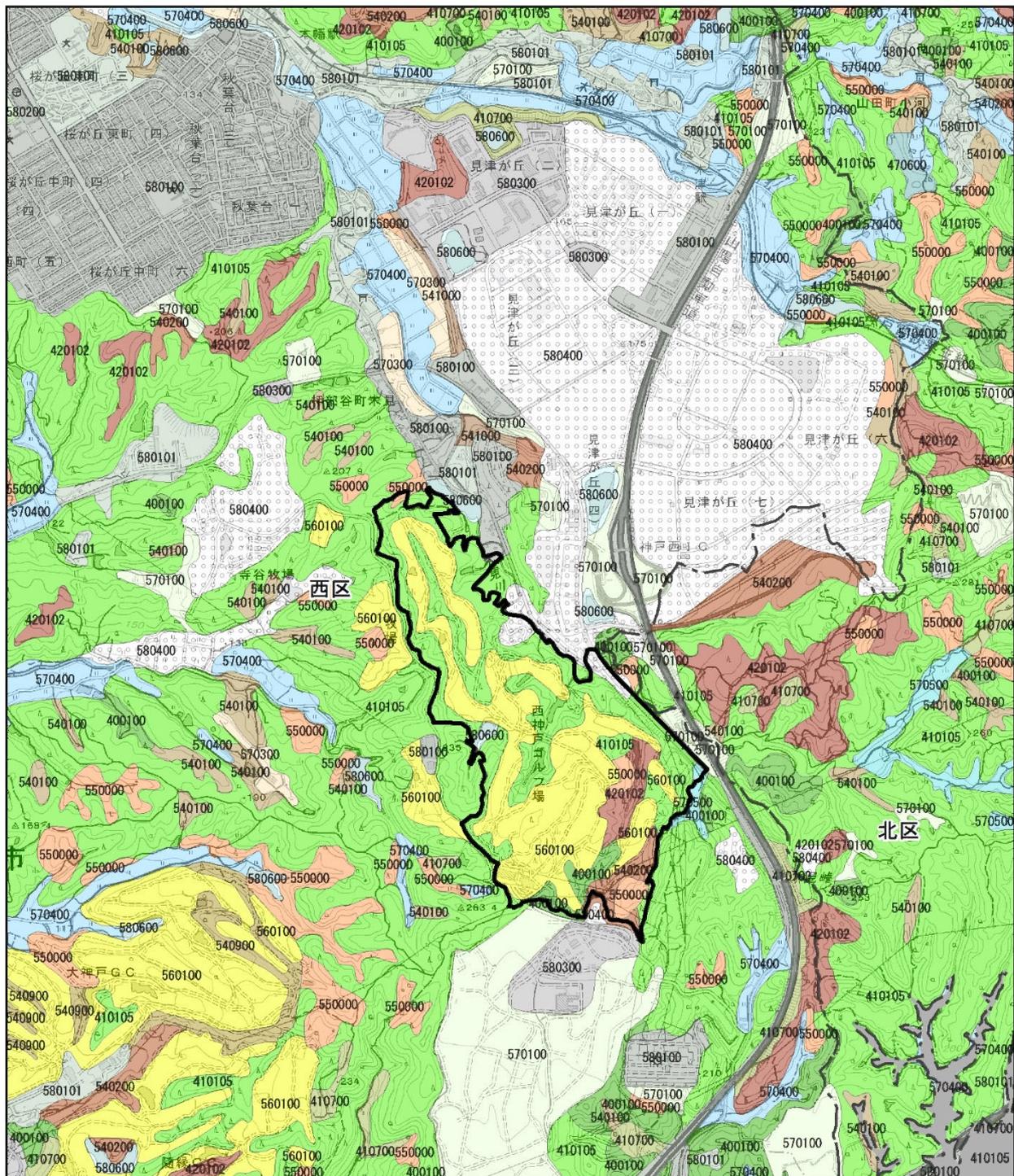
## (2) 植生

事業実施区域及びその周囲における現存植生は、図5.2-7に示すとおりである。

事業実施区域及びその周囲には、「アベマキーコナラ群集」が広く分布しており、「モチツツジーアカマツ群集」や「シイ・カシ二次林」がモザイク状に分布している。低起伏丘陵の周縁部には「竹林」が点在しており、河川沿いの低地部や丘陵地には「水田雑草群落」が分布している。

事業実施区域は低起伏丘陵地に位置したゴルフ場であり、北東側の神戸複合産業団地（神戸テクノ・ロジスティックパーク）や南側の布施畑環境センターも含め、人為的な影響を強く受けた代償植生で占められており、自然植生及びそれに近い常緑広葉樹林は成立していない。

事業実施区域の西側には、櫛谷川沿いの低地部に「水田雑草群落」が分布しており、一般国道28号（神戸淡路鳴門自動車道）を挟んだ東側には、里山林の保全・育成を目的とした公園（キーナの森）があり、「モチツツジーアカマツ群集」や「シイ・カシ二次林」がまとまって分布している。



- |   |                         |   |                         |  |
|---|-------------------------|---|-------------------------|--|
|  | 事業実施区域                  |  | 560100ゴルフ場・芝地           | 出典)「第6-7回自然環境保全基礎調査<br>植生調査報告書」<br>(環境省生物多様性センター)<br>( <a href="http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-025.html?kind=vg67">http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-025.html?kind=vg67</a> ) |
|  | 400100シイ・カシニ次林          |  | 570100路傍・空地雑草群落         |  |
|  | 410105アベマキ・コナラ群集        |  | 570300畑雑草群落             |  |
|  | 410700アカメガシワ・カラスザンショウ群集 |  | 570400水田雑草群落            |  |
|  | 420102モチツツジ・アカマツ群集      |  | 570500放棄水田雑草群落          |  |
|  | 470600ヒルムシロクラス          |  | 580100市街地               |  |
|  | 540100スギ・ヒノキ・サワラ植林      |  | 580101緑の多い住宅地           |  |
|  | 540200アカマツ植林            |  | 580200残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 |  |
|  | 540900外国産樹種植林           |  | 580300工場地帯              |  |
|  | 541000その他植林             |  | 580400造成地               |  |
|  | 550000竹林                |  | 580600開放水域              |  |

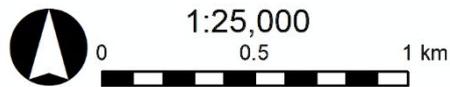


図5.2-7 現存植生図

### (3) 重要な植物及び植物群落

#### 1) 重要な植物

##### ① 重要な植物の選定基準

重要な植物の選定基準は、表5.2-5に示すとおりである。

表5.2-5 重要な植物の選定基準

番号	法律及び文献名等	選定基準のカテゴリー
①	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号)	特別：国指定の特別天然記念物 国：国指定の天然記念物
	「兵庫県文化財保護条例」 (昭和39年4月1日兵庫県条例第58号)	県：県指定の天然記念物
	「神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例」 (平成9年3月31日神戸市条例第50号)	市：市指定の天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)	第一：特定第一種国内希少野生動植物種 第二：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
③	「環境の保全と創造に関する条例」 (平成7年7月18日兵庫県条例第28号)	郷土：郷土記念物
④	「神戸市生物多様性の保全に関する条例」 (平成29年10月10日神戸市条例第7号)	市指：神戸市指定野生動植物種
⑤	「環境省レッドリスト(2020)」 (環境省、令和2年)	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
⑥	「兵庫県版レッドデータブック2020(植物・植物群落)」(兵庫県、令和2年)	【維管束植物】 EX:絶滅 EW:野生絶滅 A:Aランク B:Bランク C:Cランク 調:要調査種
⑦	「神戸の希少な野生動植物－神戸版レッドデータ2020－」(神戸市、令和3年)	【維管束植物】 今:今見られない A:Aランク B:Bランク C:Cランク 調:要調査

## ② 重要な植物

事業実施区域及びその周囲においては、表5. 2-6に示すとおり、32科53種の重要な植物が確認されている。

表5. 2-6(1) 重要な植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	選定基準								
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	シダ植物門 大葉シダ綱	コケシノブ目	コケシノブ科	アオホラゴケ	3								B	
2		ウラボシ目	イノモトソウ科	ハコネシダ	1、2、3								C	
3			オンダ科	カタイノデ	2								B	
4	種子植物門	スイレン目	スイレン科	ヒツジグサ	2								C	
5	被子植物亜門	コショウ目	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	2							C	C	
6	被子植物亜門 単子葉類	オモダカ目	トチカガミ科	スプタ	2					VU	C	A		
7				ミズオオバコ	2					VU	C	C		
8				セキシウモ	2						B	B		
9				ヒルムシロ科	コバノヒルムシロ	2					VU	B	B	
10		タコノキ目	ホンゴウソウ科	ウエマツソウ	3					VU	A	A		
11		ユリ目	ユリ科	コオニユリ	2								B	
12		クサスギカズラ目	ラン科	エビネ	2、3						NT	C	C	
13				ギンラン	3								C	C
14				キンラン	3						VU	C	B	
15				カキラン	2								C	C
16	ススキノキ科			ノカンゾウ	2							B	B	
17	クサスギカズラ科			カンザシギボウシ	3								C	C
18	イネ目			ガマ科	ミクリ	2						NT	C	A
19					ナガエミクリ	3						NT	C	B
20		カヤツリグサ科	ヒメミコシガヤ	3						CR	A	A		
21			アワボスゲ	3							A	B		
22		イネ科	ヒメコヌカグサ	3						NT				
23			ウキシバ	2								C	C	
24	種子植物門	キンポウゲ目	ツヅラフジ科	ツヅラフジ	3								C	
25	被子植物亜門	マメ目	ヒメハギ科	カキノハグサ	3							B	B	
26	真正双子葉類	バラ目	グミ科	アリマグミ	1、2、3							C	B	
27		キントラノオ目	オトギリソウ科	トモエソウ	2、3									B
28				アゼオトギリ	2						EN	B	A	
29		ナデシコ目	タデ科	サイコクヌカボ	2						VU		A	
30				モウセンゴケ科	モウセンゴケ	3								C
31		ツツジ目	ツバキ科	ナツツバキ	2									C
32				マタタビ科	サルナシ	2、3								
33	ツツジ科			ヒカゲツツジ	2								C	B

表5. 2-6(2) 重要な植物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	選定基準								
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
34	種子植物門	リンドウ目	アカネ科	イナモリソウ	3								B	
35	被子植物亜門 真正双子葉類	ナス目	ナス科	ヤマホオズキ	2					EN	A	A		
36				イガホオズキ	2								C	
37		シソ目	シソ科	ジュウニヒトエ	2							C		
38				ナツノタムラソウ	2							A		
39				キバナアキギリ	2								A	
40				シソバタツナミ	2								調	
41			ハマウツボ科	キヨスミウツボ	2、3							B	B	
42				オオヒキヨモギ	2、3、4					VU				
43			タヌキモ科	ノタヌキモ	2					VU	C	A		
44				タヌキモ	2					NT	A			
45			キク目	キキョウ科	バアソブ	2					VU			
46					キキョウ	2、3					VU		B	
47				キク科	テイショウソウ	2、3							C	C
48					ヒメヨモギ	2							B	B
49					オケラ	3							C	C
50					ヒメガンクビソウ	2、3								C
51					ヒヨドリバナ	2、3								
52	オナモミ	2								VU	EX	今		
53	セリ目	ウコギ科	ケヤマウコギ	2							EX			
合計 32科53種						0	0	0	0	20	33	46		

注) 選定基準の略称は、表5. 2-5参照。

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「キーナの森 森林保全活動支援業務報告書」((公財)ひょうご環境創造協会、令和3年)

## 2) 重要な植物群落

### ① 重要な植物群落の選定基準

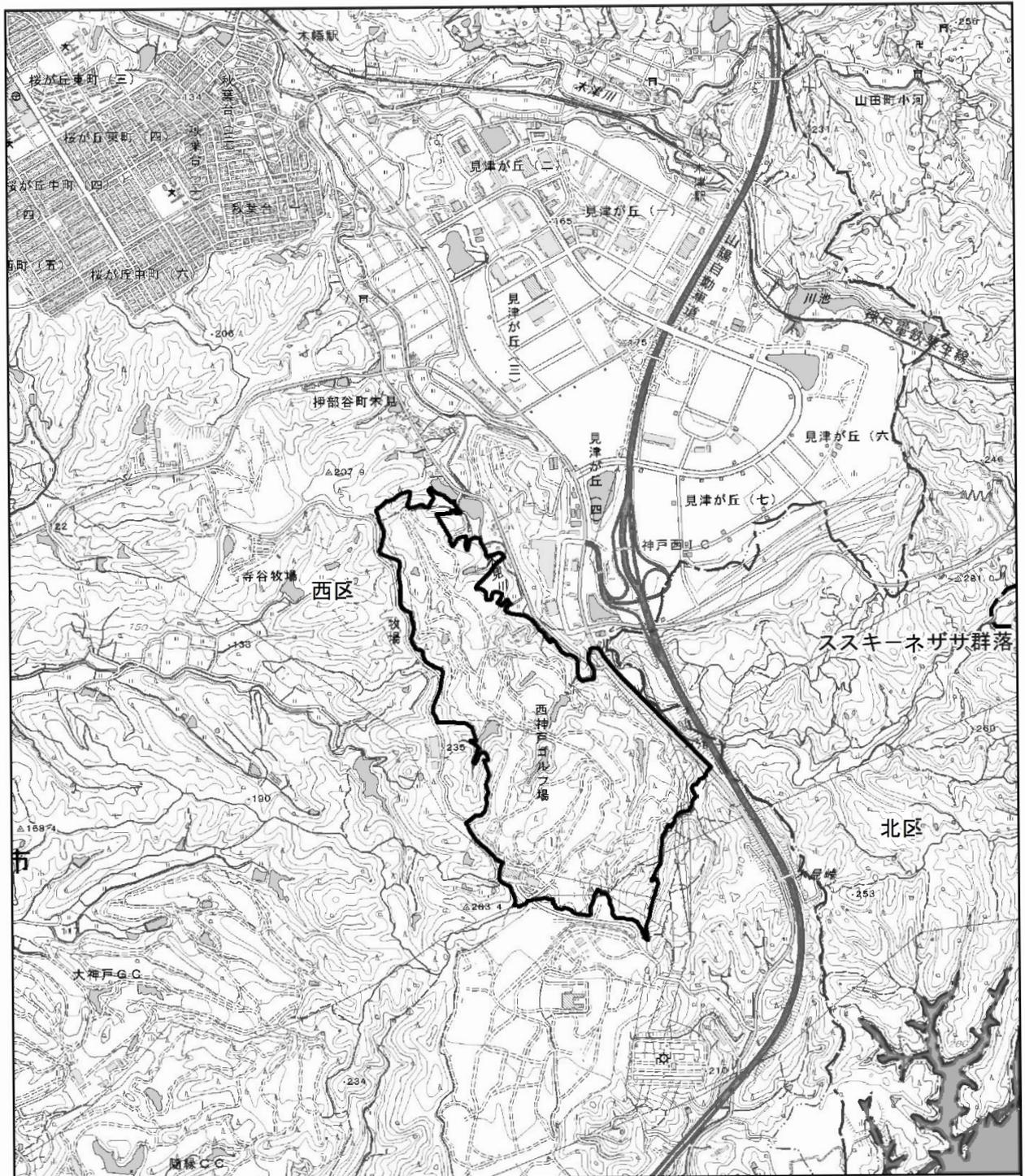
重要な植物群落の選定基準は、表5.2-7に示すとおりである。

表5.2-7 重要な植物群落の選定基準

番号	法律及び文献名等	選定基準のカテゴリー
①	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号)	特別：国指定の特別天然記念物 国：国指定の天然記念物
	「兵庫県文化財保護条例」 (昭和39年4月1日兵庫県条例第58号)	県：県指定の天然記念物
	「神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例」 (平成9年3月31日神戸市条例第50号)	市：市指定の天然記念物
②	「環境の保全と創造に関する条例」 (平成7年7月18日兵庫県条例第28号)	郷土：郷土記念物
③	「第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」 (環境庁、昭和54年) 「第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」 (環境庁、昭和63年) 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」 (環境庁、平成12年)	A：原生林もしくはそれに近い自然林 B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落 又は個体群 C：比較的普通にみられるものであっても、南限、北 限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる 植物群落又は個体群 D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、 石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落また は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の 特徴が典型的なもの F：過去において人工的に植栽されたことが明らか な森林であっても長期にわたって伐採等の手が 入っていないもの。 G：乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内 で極端に少なくなる恐れのある植物群落又は個 体群 H：その他学術上重要な植物群落又は個体群
④	「兵庫県版レッドデータブック2020 (植物・植物群落)」 (兵庫県、令和2年)	【植物群落・個体群】 A:Aランク B:Bランク C:Cランク 注:要注目
⑤	「神戸の希少な野生動植物 —神戸版レッドデータ2020—」 (神戸市、令和3年)	【植物群落】 A:Aランク B:Bランク C:Cランク

### ② 重要な植物群落

事業実施区域及びその周囲においては、図5.2-8に示すとおり、北区山田町藍那に位置するあいな里山公園における二次草原・ススキ・ネザサ群落（棚田の畦畔法面草原）が、兵庫県によるBランクの植物群落に選定されている。



- 事業実施区域
- 重要な植物群落

出典) 「兵庫県版レッドデータブック2020 (植物・植物群落)  
ひょうごの環境」 (兵庫県、令和2年)



図5.2-8 重要な植物群落

### 3) その他留意すべき植物

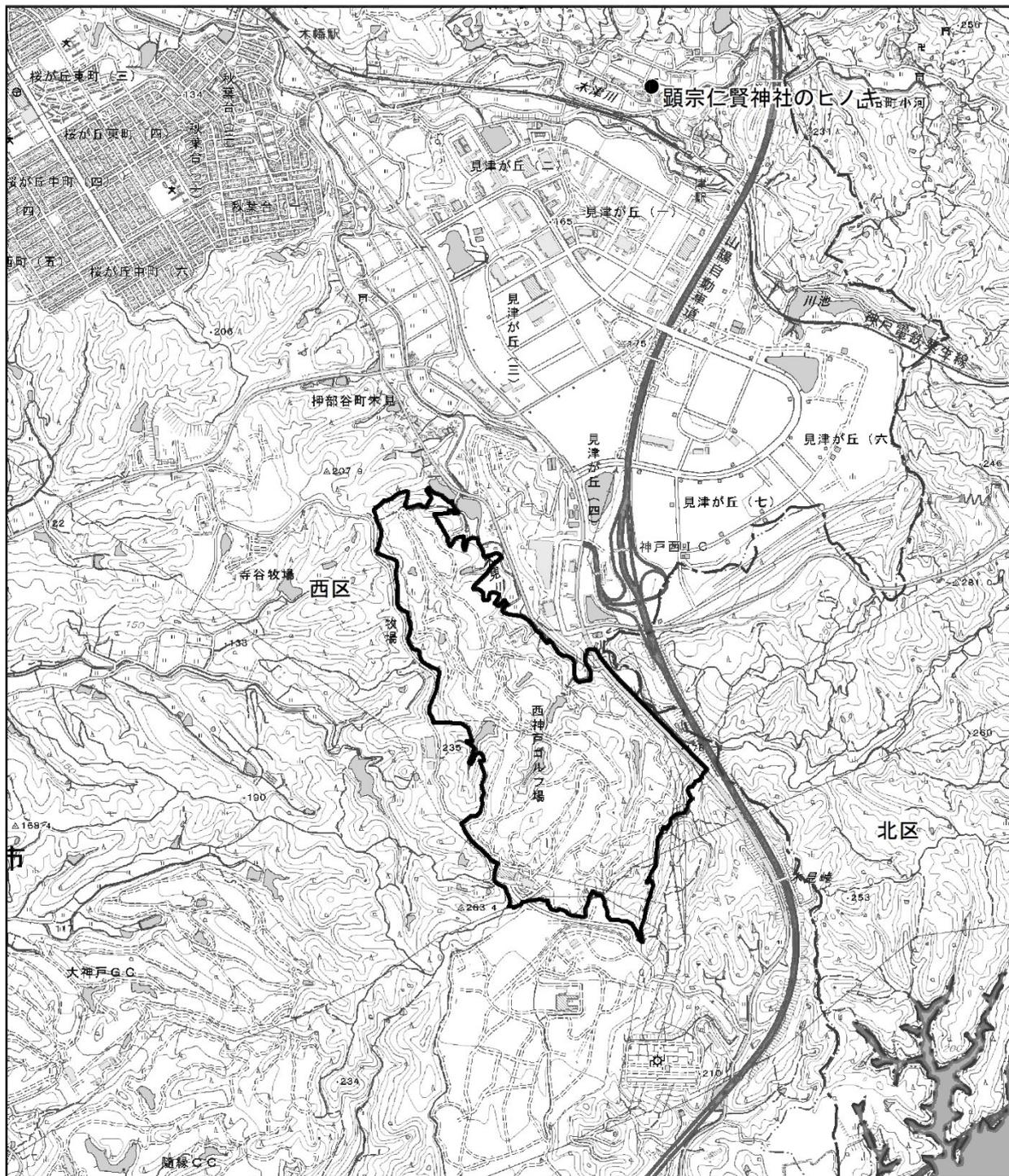
#### ① 巨樹・巨木林

事業実施区域及びその周囲においては、図5. 2-9に示すとおり、「顕宗仁賢神社のヒノキ」が市民の木に指定されている。

なお、「巨樹・巨木林データベース」（環境省ホームページ、令和3年11月現在）及び「ひょうごの巨樹・巨木100選」（(社)兵庫県林業会議・(社)兵庫県治山林道協会、平成17年）による巨樹・巨木林は、事業実施区域及びその周囲には分布していない。

#### ② 植生自然度が9及び10に区分される植生

事業実施区域及びその周囲における植生自然度9以上の植生は、図5. 2-10に示すとおりであり、自然度10の「ヒルムシロクラス」が分布している。



- 事業実施区域
- 市民の木 (神戸市)

出典) 「市民の木」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

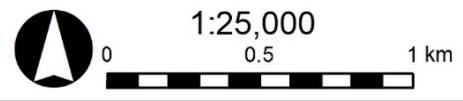
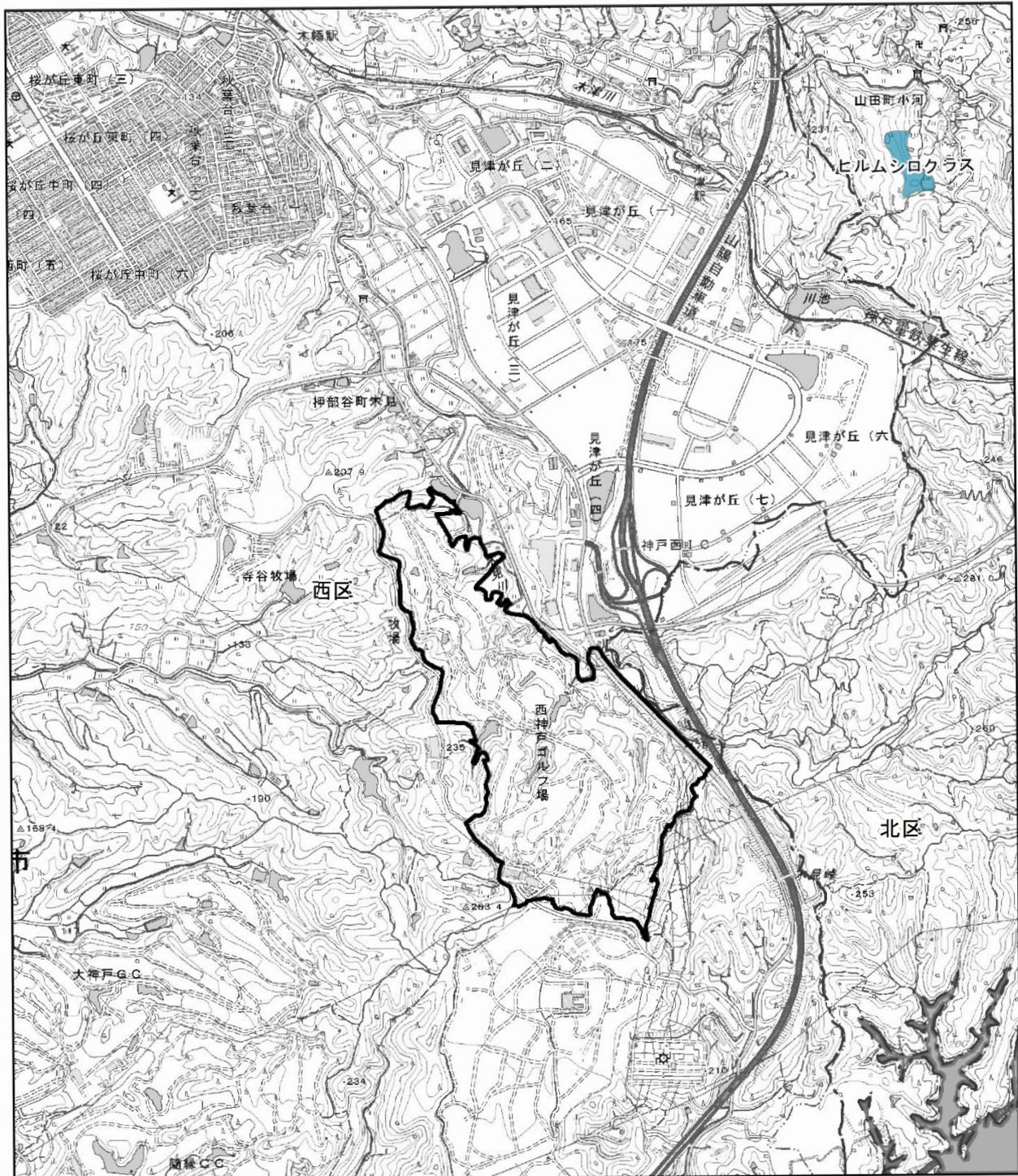


図5.2-9 巨樹・巨木林位置図



- 事業実施区域
- 植生自然度10

出典) 「第6-7回自然環境保全基礎調査植生調査報告書」  
 (環境省生物多様性センター)  
<http://gis.biodic.go.jp/webgis/sc-025.html?kind=v67>  
 「1/2.5万植生図の新たな植生自然度について」  
 (環境省生物多様性センター、平成28年)



図5.2-10 植生自然度9及び10に区分される植生の分布

## 5.2.5. 動物

### (1) 哺乳類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-8に示すとおり、5目7科10種の哺乳類が確認されている。

表5.2-8 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた哺乳類

番号	目名	科名	種名	出典
1	モグラ目（食虫目）	モグラ科	モグラ属	2
2			ヒミズ	2
—			モグラ科	3
3	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	2、3
4	ネズミ目（齧歯目）	リス科	ニホンリス	3
5		ネズミ科	カヤネズミ	2
—			ネズミ科	3
6	ネコ目（食肉目）	イヌ科	タヌキ	2、3
7			キツネ	2、3
8		イタチ科	テン	2、3
9			イタチ	2、3
10	ウシ目（偶蹄目）	イノシシ科	ニホンイノシシ	2、3
合計 5目7科10種				

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」（神戸市、昭和56年）  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」（兵庫県、平成3年）  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」（兵庫県、神戸市、平成11年）  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書（兵庫県）」（環境庁、昭和55年）

## (2) 鳥類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-9に示すとおり、13目29科64種の鳥類が確認されている。

表5.2-9(1) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた鳥類

番号	目名	科名	種名	出典
1	キジ目	キジ科	キジ	1、3
2			ヤマドリ	3
3	ツル目	クイナ科	バン	1
4	カモ目	カモ科	オシドリ	3
5	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	1、2
6	ハト目	ハト科	キジバト	1、2、3
7	ペリカン目	サギ科	アオサギ	3
8			アマサギ	1
9			コサギ	1、3
10			チュウサギ	1
11			ゴイサギ	2
12	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ	1
13			ホトトギス	1、2、3
14	チドリ目	チドリ科	イカルチドリ	2
15	タカ目	タカ科	オオタカ	3
16			ハイタカ	3
17			サシバ	1、2
18			ノスリ	2
19			トビ	1、2、3
20			ハチクマ	3
21	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	3
22	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	1
23	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	1、2、3
24			アカゲラ	2
25			アオゲラ	1、3
26	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	1
27		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	1、2、3
28		モズ科	モズ	2、3
29		カラス科	ハシボソガラス	1、2、3
30			ハシブトガラス	1、2、3
31			カケス	1、2、3

表5. 2-9(2) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた鳥類

番号	目名	科名	種名	出典	
32	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ	1、2、3	
33			ヒガラ	3	
34			ヤマガラ	1、2、3	
35		ツバメ科	コシアカツバメ	2	
36			ツバメ	1、2、3	
37		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	1、2、3	
38		ウグイス科	ウグイス	1、2、3	
39			ヤブサメ	1、2、3	
40		エナガ科	エナガ	1、2、3	
41		ムシクイ科	センダイムシクイ	1、2、3	
42			メボソムシクイ	3	
43		メジロ科	メジロ	1、2、3	
44		ムクドリ科	ムクドリ	2	
45		ヒタキ科	オオルリ	1、2、3	
46			コサメビタキ	2	
47			ジョウビタキ	3	
48			ルリビタキ	2、3	
49			アカハラ	3	
50			ツグミ	2、3	
51			シロハラ	2、3	
52			トラツグミ	3	
53			スズメ科	スズメ	1、2、3
54		セキレイ科	ハクセキレイ	2	
55			キセキレイ	1、3	
56			セグロセキレイ	1、2	
57		アトリ科	マヒワ	2	
58			カワラヒワ	1、2、3	
59			シメ	2	
60			ウソ	2	
61			ベニマシコ	3	
62		ホオジロ科	ホオジロ	1、2、3	
63			カシラダカ	2、3	
64			アオジ	2、3	
合計 13目29科64種					

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

### (3) 爬虫類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-10に示すとおり、2目6科11種の爬虫類が確認されている。

表5.2-10 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた爬虫類

番号	目名	科名	種名	出典
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	3
2			クサガメ	2、3
3	有鱗目	トカゲ科	ニホントカゲ	3
4		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	2、3
5		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	3
6		ナミヘビ科	シロマダラ	3
7			アオダイショウ	2、3
8			シマヘビ	2、3
9			ヒバカリ	2
10			ヤマカガシ	2、3
11		クサリヘビ科	ニホンマムシ	2、3
合計 2目6科11種				

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

#### (4) 両生類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-11に示すとおり、2目6科9種の両生類が確認されている。

表5.2-11 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた両生類

番号	目名	科名	種名	出典
1	有尾目	サンショウウオ科	セトウチサンショウウオ	3、4
2		イモリ科	アカハライモリ	3
3	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	3
4		アマガエル科	ニホンアマガエル	2、3
5		アカガエル科	ツチガエル	2
6			ウシガエル	2、3
7			トノサマガエル	2、3
8			ニホンアカガエル	2、3
9		ヌマガエル科	ヌマガエル	3
合計 2目6科9種				

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## (5) 魚類

事業実施区域及びその周囲においては、表5. 2-12に示すとおり、3目6科16種の魚類が確認されている。

表5. 2-12 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた魚類

番号	目名	科名	種名	出典
1	コイ目	コイ科	ギンブナ	2、3
—			フナ属	1
2			コイ	3
3			タモロコ	1、2、3
4			カワムツ	1、2、3
5			オイカワ	1、2、3
6			カマツカ	1
7		モツゴ	1、2	
8		ドジョウ科	オオシマドジョウ	1
9			チュウガタスジシマドジョウ	1
10	ドジョウ		2、3	
11	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	2、3
12	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	2、3
13			オオクチバス	1、2
14		ドンコ科	ドンコ	1、2、3
15		ハゼ科	カワヨシノボリ	1、3
16			トウヨシノボリ類	3
—			ヨシノボリ属	2
合計 3目6科16種				

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## (6) 昆虫類

事業実施区域及びその周囲においては、表5. 2-13に示すとおり、20目189科908種の昆虫類が確認されている。

表5. 2-13(1) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
1	トビムシ目	—	トビムシ目	2	
2	イシノミ目	イシノミ科	イシノミ	2	
3	トンボ目 (蜻蛉目)	アオイトトンボ科	ホソミオツネトンボ	2、3	
4			アオイトトンボ	2、3	
5			オオアオイトトンボ	2、3	
6			オツネトンボ	3	
7		イトトンボ科	ホソミイトトンボ	3	
8			キイトトンボ	2	
9			アオモンイトトンボ	3	
10			クロイトトンボ	2、3	
11			オオイトトンボ	2	
12		モノサシトンボ科	モノサシトンボ	2、3	
13		カワトンボ科	ハグロトンボ	3	
14			<i>Mnais</i> 属	2、3	
15		ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	3	
16			ギンヤンマ	2、3	
17			カトリヤンマ	3	
18			ミルンヤンマ	3	
19			ヤブヤンマ	3	
20		サナエトンボ科	ヤマサナエ	1、2	
21			キイロサナエ	3	
22			ウチワヤンマ	2	
23			フタスジサナエ	2、3	
24		オニヤンマ科	オニヤンマ	2、3	
25		エゾトンボ科	コヤマトンボ	2、3	
26			タカネトンボ	2	
27			エゾトンボ	2、4	
28		トンボ科	ショウジョウトンボ	2、3	
29			ヨツボシトンボ	2、3	
30			ハラビロトンボ	2、3	
31			シオカラトンボ	2、3	
32			オオシオカラトンボ	2、3	
33			ウスバキトンボ	2、3	
34			コシアキトンボ	2、3	
35			チョウトンボ	2、3	
36			コノシメトンボ	2	
37			ナツアカネ	2、3	
38			マユタテアカネ	2、3	
39			アキアカネ	2、3	
40			ナニワトンボ	1、2	
41			ノシメトンボ	2	
42			マイコアカネ	2	
43			ヒメアカネ	2	
44			リスアカネ	2、3	
45			ネキトンボ	1、3	
46		シロアリ目	ミズガシラシロアリ科	ヤマトシロアリ	2、3

表5.2-13(2) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
47	ゴキブリ目 (網翅目)	オオゴキブリ科	オオゴキブリ	3	
48		ゴキブリ科	ヤマトゴキブリ	3	
49		チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	2、3	
50			キスジゴキブリ	3	
51	カマキリ目 (蠍螂目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ	3	
52		カマキリ科	ハラビロカマキリ	3	
53			コカマキリ	2	
54			チョウセンカマキリ	2	
55			オオカマキリ	2、3	
56	ハサミムシ目 (革翅目)	オオハサミムシ科	オオハサミムシ	3	
57	バッタ目 (直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス	2	
58		カマドウマ科	クラズミウマ	3	
59			マダラカマドウマ	3	
—			カマドウマ科	2	
60		ツユムシ科	セスジツユムシ	2、3	
61			サトクダマキモドキ	3	
62			ヤマクダマキモドキ	3	
63			ツユムシ	2	
64			アシグロツユムシ	2、3	
65		キリギリス科	オナガササキリ	2、3	
66			ホシササキリ	3	
67			ササキリ	2、3	
68			ヒメギス	3	
69			クビキリギス	2、3	
70			ニシキリギリス	3	
71			クサキリ	2	
—			キリギリス科	3	
72			ケラ科	ケラ	3
73			マツムシ科	マツムシモドキ	3
74		スズムシ		3	
75		カンタン		3	
76		アオマツムシ		2、3、4	
77		マツムシ		3	
78		コオロギ科		ハラオカメコオロギ	3
79			クマスズムシ	3	
80			エンマコオロギ	2、3	
81			ツヅレサセコオロギ	3	
—			コオロギ科	2	
82		カネタタキ科	カネタタキ	2、3	
83	ヒバリモドキ科	マダラスズ	3		
84		ヒメスズ	3		
85		ヤチスズ	2		
86		クサヒバリ	2		
87		キアシヒバリモドキ	3		
88		バッタ科	ショウリョウバッタ	2、3	
89	マダラバッタ		2、3		
90	クルマバッタ		2、3		
91	ヒナバッタ		3		
92	トノサマバッタ		2、3		
93	ナキイナゴ		2、3		
94	クルマバッタモドキ		3		
95	ツマグロバッタ		3		
96	イボバッタ		2、3		
—	バッタ科		2、3		

表5.2-13(3) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
97	バッタ目 (直翅目)	イナゴ科	ハネナガイナゴ	2	
98			ミカドフキバッタ	2	
99			キンキフキバッタ	3	
100			ツチイナゴ	2、3	
101		オンブバッタ科	オンブバッタ	2、3	
102		ヒシバッタ科	トゲヒシバッタ	3	
103			ハネナガヒシバッタ	2、3	
104			ハラヒシバッタ	2、3	
105			ナナフシ目 (竹節虫目)	ナナフシ科	ニホントビナナフシ
106		トゲナナフシ			3
107	エダナナフシ	3			
—	ナナフシ科	2			
108	チャタテムシ目	チャタテ科	チャタテ科	3	
109	カメムシ目 (半翅目)	ヒシウンカ科	キガシラヒシウンカ	3	
110		ウンカ科	セジロウンカ	3	
111		ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ	3	
112			アカメガシワハネビロウンカ	3	
113		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	2、3	
114			トビイロハゴロモ	3	
115		マルウンカ科	マルウンカ	3	
116			カタビロクサビウンカ	2	
117		ハゴロモ科	スケバハゴロモ	3	
118			ベッコウハゴロモ	2、3	
119			アミガサハゴロモ	2、3	
120		グンバイウンカ科	ヒラタグンバイウンカ	3	
121		セミ科	クマゼミ	2、3	
122			アブラゼミ	2、3	
123			ミンミンゼミ	2、3	
124			チッチゼミ	2、3	
125			ツクツクボウシ	2、3	
126			ニイニイゼミ	2、3	
127			ヒグラシ	2、3	
128			ハルゼミ	3、4	
129	アワフキムシ科		シロオビアワフキ	2、3	
130		ハマベアワフキ	3		
131		ホシアワフキ	3		
132	コガシラアワフキムシ科	コガシラアワフキ	2、3		
133	ヨコバイ科	カンキツヒメヨコバイ	3		
134		スズキフタテンヒメヨコバイ	3		
135		ホシアオズキンヨコバイ	3		
136		ツマグロオオヨコバイ	2、3		
137		オオヨコバイ	3		
138		マダラヒメヨコバイ	3		
139		オオオナガトガリヨコバイ	3		
140		ブチミヤクヨコバイ	3		
141		フタスジトガリヨコバイ	3		
142		ヒシモンヨコバイ	3		
143		マエジロオオヨコバイ	3		
144		ミドリヒロヨコバイ	3		
145		ミミズク	3		
146		コミミズク	3		
147		ホシヒメヨコバイ	3		
148		ツマグロヨコバイ	3		

表5.2-13(4) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典
149	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	クワキヨコバイ	2、3
—			ヨコバイ科	3
150		サシガメ科	ヨコヅナサシガメ	2、4
151			アカサシガメ	2、3
152			シマサシガメ	2、3
153		グンバイムシ科	オオウチワグンバイ	3
154			トサカグンバイ	3
155		カスミカメムシ科	クロバカスミカメ	3
156			モモアカハギカスミカメ	3
157			ツماغロハギカスミカメ	3
158			ヨツボシカスミカメ	3
—			カスミカメムシ科	2、3
159		マキバサシガメ科	ホソマキバサシガメ	3
160			ハネナガマキバサシガメ	3
161		ヒラタカメムシ科	コヒラタカメムシ	3
162		オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ	3
163			ヒメホシカメムシ	2、3
164		ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ	2、3
165		ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	2、3
166	ホソヘリカメムシ		2、3	
167	ヘリカメムシ科	ホソハリカメムシ	2、3	
168		ハリカメムシ	2、3	
169		ハラビロヘリカメムシ	2、3	
170		オオクモヘリカメムシ	2	
171		ホシハラビロヘリカメムシ	2、3	
172		オオツマキヘリカメムシ	2、3	
173		ツマキヘリカメムシ	2、3	
174		オオヘリカメムシ	2	
175	ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ	2	
176		ブチヒメヘリカメムシ	2、3	
177	ナガカメムシ科	コバネナガカメムシ	3	
178		オオメナガカメムシ	2、3	
179		キベリヒョウタンナガカメムシ	3	
180		オオモンシロナガカメムシ	2、3	
181		オオチャイロナガカメムシ	3	
182		チャイロナガカメムシ	2、3	
183		ヒメナガカメムシ	3	
184		ヒラタヒョウタンナガカメムシ	3	
185		ヒゲナガカメムシ	3	
186		モンシロナガカメムシ	2、3	
187		アカアシホソナガカメムシ	3	
188		クロアシホソナガカメムシ	3	
189		コバネヒョウタンナガカメムシ	3	
—	ナガカメムシ科	2		
190	ツノカメムシ科	セアカツノカメムシ	3	
191		ベニモンツノカメムシ	3	
192		エサキモンキツノカメムシ	2	
193	ツチカメムシ科	ヒメツチカメムシ	3	
194		ツチカメムシ	3	
195	カメムシ科	ウズラカメムシ	3	
196		シロヘリカメムシ	3	
197		ウシカメムシ	3	
198		トゲカメムシ	2	
199		ブチヒゲカメムシ	2	

表5.2-13(5) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典
200	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	ナガメ	3
201			ムラサキシラホシカメムシ	2
202			シラホシカメムシ	3
203			ツヤアオカメムシ	3
204			エビイロカメムシ	2、3
205			クサギカメムシ	2、3
206			ヨツボシカメムシ	2
207			フタデシカメムシ	3
208			スコットカメムシ	2
209			ツマジロカメムシ	2、3
210			チャバネアオカメムシ	2、3
211		イネクロカメムシ	2	
212		マルカメムシ科	マルカメムシ	2、3
213		キンカメムシ科	チャイロカメムシ	3
214			アカスジキンカメムシ	2
215		アメンボ科	オオアメンボ	3
216			アメンボ	3
217			ヒメアメンボ	2、3
218			シマアメンボ	3
219		ミズムシ科	ミズムシ	3
220			コミズムシ	2、3
221		コオイムシ科	コオイムシ	3
222			タガメ	4
223		タイコウチ科	タイコウチ	2
224			ミズカマキリ	3
225		マツモムシ科	コマツモムシ	3
226	マツモムシ		2、3	
227	アザミウマ目	クダアザミウマ科	クダアザミウマ科	3
228	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ	3
229	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	カマキリモドキ科	キカマキリモドキ	3
230			ヒメカマキリモドキ	3
231		クサカゲロウ科	ヤマトクサカゲロウ	3
—			クサカゲロウ科	3
232		ツノトンボ科	ツノトンボ	2、3
233		ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	3
234			カスリウスバカゲロウ	3
235			モイワウスバカゲロウ	3
—			ウスバカゲロウ科	2
236		コナカゲロウ科	コナカゲロウ科	2
237		シリアゲムシ目 (長翅目)	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ
238	キアシシリアゲ			3
239	スカシシリアゲモドキ			3
—	シリアゲムシ科			2、3
240	トビケラ目 (毛翅目)	シマトビケラ科	シマトビケラ科	2
241		ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	3
242		エグリトビケラ科	ウスバキトビケラ	3
243			エグリトビケラ	3
244		トビケラ科	アミメトビケラ	3
245	チョウ目 (鱗翅目)	ヒロゾコガ科	アトモンヒロゾコガ	2
246		マルハキバガ科	シロスジベニマルハキバガ	3
247		スガ科	モチツツジメムシガ	3
248		ハマキガ科	チャノコカクモンハマキ	3
249			アトキハマキ	3
250			モミアトキハマキ	3

表5.2-13(6) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
251	チョウ目 (鱗翅目)	ハマキガ科	マツアトキハマキ	3	
252			ビロードハマキ	2	
253			アトボシハマキ	3	
254			アシブトヒメハマキ	3	
255			トビモンコハマキ	3	
256			ヨモギネムシガ	3	
257			シロズスソモンヒメハマキ	3	
258			ヨツスジヒメシンクイ	3	
259			シロモンヒメハマキ	3	
260			ニセコシワヒメハマキ	3	
261			オオギンスジハマキ	3	
262			クロネハイイロヒメハマキ	3	
—				ハマキガ科	3
263			イラガ科	アオイラガ	3
264				タイワンイラガ	2
265			マダラガ科	ホタルガ	2、3
266			トリバガ科	トリバガ科	3
267			セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	3
268				ホソバセセリ	2、3
269				イチモンジセセリ	3
270				チャバネセセリ	2、3
271				オオチャバネセセリ	3
272				キマダラセセリ	2、3
273			シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	3
274				ムラサキシジミ	3
275				ルリシジミ	3
276				ウラギンシジミ	2、3
277				ツバメシジミ	2、3
278				アカシジミ	3
279		ベニシジミ		2、3	
280		クロシジミ		2	
281		ヤマトシジミ本土亜種		2、3	
282		タテハチョウ科		コムラサキ	2
283			ミドリヒョウモン	2	
284			ツマグロヒョウモン	3	
285			メスグロヒョウモン	2	
286			ゴマダラチョウ本土亜種	3	
287			ルリタテハ本土亜種	2、3	
288			クロヒカゲ本土亜種	2、3	
289			ヒカゲチョウ	2、3	
290			テングチョウ日本本土亜種	2、3	
291			イチモンジチョウ	2、3	
292			アサマイチモンジ	2	
293			ジャノメチョウ	2、3	
294			コジャノメ	2、3	
295			ヒメジャノメ	2	
296			サトキマダラヒカゲ	2、3	
297			コムスジ本州以南亜種	2、3	
298			ヒオドシチョウ	3	
299			アサギマダラ	2	
300			キタテハ	2、3	
301			オオムラサキ	2	
302		ヒメアカタテハ	3		

表5.2-13(7) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
303	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	アカタテハ	2	
304			ヒメウラナミジャノメ	2、3	
305		アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種	2、3	
306			アオスジアゲハ	2、3	
307			ギフチョウ	4	
308			カラスアゲハ本土亜種	3	
309			モンキアゲハ	2、3	
310			キアゲハ	2、3	
311			オナガアゲハ	3	
312			クロアゲハ本土亜種	2、3	
313			アゲハ	2、3	
314			シロチョウ科	モンキチョウ	3
315				ミナミキチョウ	2、3
316				スジグロシロチョウ	2、3
317				モンシロチョウ	2、3
318		ツトガ科	クロウスムラサキノメイガ	3	
319			シロヒトモンノメイガ	3	
320			ヒメトガリノメイガ	3	
321			ツトガ	3	
322			サツマトガ	3	
323			ヘリアカキンノメイガ	3	
324			ニカメイガ	3	
325			キベリハネボソノメイガ	3	
326			コブノメイガ	3	
327			マツノゴマダラノメイガ	3	
328			キアヤヒメノメイガ	3	
329			オオモンシロルリノメイガ	2	
330			モンキクロノメイガ	3	
331			ミツテンノメイガ	3	
332			マメノメイガ	3	
333			シロテンキノメイガ	3	
334			クロフキノメイガ	3	
335			ホシオビホソノメイガ	3	
336			クロミスジノメイガ	3	
337			ヨスジノメイガ	3	
338	ヘリジロキンノメイガ		3		
339	マエアカスカシノメイガ		3		
340	ゼニガサミズメイガ		2		
341	クロスジキンノメイガ		3		
342	ウコンノメイガ		3		
343	トモンノメイガ		3		
344	シロオビノメイガ		3		
345	ウラジロキノメイガ		3		
346	メイガ科		ツツマダラメイガ	3	
347			ウスアカムラサキマダラメイガ	3	
348			ウスオビトガリメイガ	3	
349			ウスベニトガリメイガ	2、3	
350			アカマダラメイガ	3	
351	ツマキシマメイガ	3			
—		メイガ科	3		
352	マドガ科	アカジマドガ	3		
353	カギバガ科	マエキカギバ	2、3		
354		ヤマトカギバ	3		
355		アシベニカギバ	3		

表5.2-13(8) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典
356	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ヒメハイイロカギバ	3
357			モントガリバ	3
358			ウコンカギバ	3
359		アゲハモドキガ科	キンモンガ	2、3
360		シャクガ科	アシプトチズモンアオシャク	3
361			ナカウスエダシャク	3
362			ゴマダラシロエダシャク	3
363			アトヘリアオシャク	3
364			ヒヨウモンエダシャク	2
365			フタモンクロナミシャク	3
366			フタテンオエダシャク	3
367			ホソバハラアカアオシャク	3
368			クロスジアオナミシャク	3
369			ウコンエダシャク	3
370			マツオオエダシャク	3
371			ツマキリエダシャク	3
372			キアミメナミシャク	3
373			エグリエダシャク	3
374			キマダラオオナミシャク	2
375			ウラベニエダシャク	3
376			ミツボシナミシャク	3
377			サザナミオビエダシャク	2、3
378			ウラキトガリエダシャク	2、3
379			ヨスジキヒメシャク	3
380			キオビベニヒメシャク	3
381			ベニヒメシャク	3
382			ミジンキヒメシャク	3
383			フタホシシロエダシャク	3
384			ウスクモエダシャク	2、3
385			マエキトビエダシャク	2、3
386			エグリヅマエダシャク	3
387			ヨツメエダシャク	3
388			コヨツメエダシャク	2、3
389			ナミスジシロエダシャク	3
390			ウスアオエダシャク	3
391			ツマキリウスキエダシャク	3
392			ソトシロオビナミシャク	3
393			コナフキエダシャク	2、3
394			ツマキエダシャク	3
395			マエキオエダシャク	3
396	クロスジオオシロヒメシャク	3		
397	オレクギエダシャク	3		
398	ギンバネヒメシャク	3		
399	クロハグルマエダシャク	3		
400	スジハグルマエダシャク	3		
401	キマダラツバメエダシャク	3		
402	コベニスジヒメシャク	3		
403	モンシロツマキリエダシャク	3		
—		シャクガ科		2、3
404	カレハガ科	マツカレハ	3	
405		タケカレハ	3	
406		リンゴカレハ	3	
407	ヤママユガ科	ヤママユ本土亜種	2	
408		ウスタビガ本土亜種	2	

表5.2-13(9) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
409	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	ホソバスズメ	3	
410			アジアホソバスズメ	3	
411			サザナミスズメ	3	
412			ホシホウジャク	2	
413			エゾスズメ	3	
—			スズメガ科	2	
414		シャチホコガ科	キシヤチホコ	3	
415			ホソバネグロシャチホコ	3	
416			セダカシャチホコ	3	
417			ホソバシャチホコ	3	
418			ハガタエグリシャチホコ	3	
419			ルリモンシャチホコ	3	
420			ツマキシヤチホコ	2	
421			スズキシヤチホコ	3	
422			オオエグリシャチホコ	2、3	
423			ムラサキシヤチホコ	3	
424			ヒトリガ科	カノコガ	2、3
425				スジベニコケガ	3
426				マエグロホソバ	3
427				ムジホソバ	3
428		クワゴマダラヒトリ		3	
—		ヒトリガ科		2	
429		ドクガ科	チャドクガ	3	
430			アカヒゲドクガ	3	
431			ナチキシタドクガ	3	
432			トラサンドクガ	3	
433			マイマイガ	3	
434			カシワマイマイ本土亜種	2、3	
435			ヒメシロモンドクガ	3	
436			ヤクシマドクガ	3	
437			ゴマフリドクガ日本本土・奄美亜種	3	
438			ニワトコドクガ	3	
439		ヤガ科	フタテンヒメヨトウ	2	
440			シラナミクロアツバ	2	
441			オオシマカラスヨトウ	3	
442			シロスジカラスヨトウ	3	
443			ネスジシラクモヨトウ	3	
444			シロテンウスグロヨトウ	3	
445			ヒメウスグロヨトウ	3	
446			ヤマガタアツバ	3	
447			イチモジキノコヨトウ	3	
448			ウスアオモンコヤガ	3	
449			オオエグリバ	3	
450			ガマヨトウ	3	
451			コガタキシタバ	3	
452			カバイロシマコヤガ	3	
453	シマフコヤガ		3		
454	ベニシマコヤガ		3		
455	キノコヨトウ		3		
456	ハガタクチバ		3		
457	オオバコヤガ		3		
458	オオシラホシアツバ		2		
459	オオトモエ		3		
460	アケビコノハ		3		

表5. 2-13(10) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典		
461	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	クロクモヤガ	3		
462			ソトウスグロアツバ	2		
463			モンキコヤガ	2、3		
464			シロホシクロアツバ	2		
465			アミメケンモン	3		
466			クビグロクチバ	3		
467			ヒメネジロコヤガ	3		
468			シャクドウクチバ	3		
469			シロスジトモエ	3		
470			フタホシコヤガ	3		
471			フサキバアツバ	3		
472			マダラキヨトウ	3		
473			クサシロキヨトウ	3		
474			マメチャイロキヨトウ	3		
475			フタオビキヨトウ	3		
476			フタオビコヤガ	3		
477			ツマジロツマキリアツバ	2、3		
478			リンゴツマキリアツバ	3		
479			ニセタマナヤガ	3		
480			シロマダラコヤガ	3		
481			シロフコヤガ	3		
482			オオアカマエアツバ	3		
483			カバズジャガ	3		
484			コマルモンシロガ	3		
485			オスグロトモエ	3		
486			ウスアオキノコヨトウ	3		
487			ネモンシロフコヤガ	3		
488			カザリツマキリアツバ	3		
489			キイロアツバ	3		
490			ヒメコブヒゲアツバ	3		
491			キシタミドリヤガ	3		
—				ヤガ科		3
492				コブガ科	ギンボシリング	2、3
493					ミドリリング	3
494					クロオビリング	3
495					アカスジアオリング	3
496			ハエ目 (双翅目)	ガガンボ科	スネプトクシヒゲガガンボ	2、3
497					ベッコウガガンボ	3
498					キリウジガガンボ	3
—						ガガンボ科
499				キノコバエ科	キノコバエ科	2
500				カ科	カ科	3
501				タマバエ科	タマバエ科	2
502				クロバネキノコバエ科	クロバネキノコバエ科	2
503				コガシラアブ科	セダカコガシラアブ	3
504				ムシヒキアブ科	トラフムシヒキ	3
505					イッシキイシアブ	3
506					アオメアブ	2、3
507	オオイシアブ	2				
508	ナミマガリケムシヒキ	2、3				
509	シオヤアブ	2、3				
—		ムシヒキアブ科			3	
510	ハナアブ科	ホソヒラタアブ		3		
511		シマハナアブ		2		

表5. 2-13(11) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
512	ハエ目 (双翅目)	ハナアブ科	オオハナアブ	2	
513			ヒメヒラタアブ	3	
—			ハナアブ科	3	
514		ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ科	2	
515		ベッコウバエ科	ベッコウバエ	3	
516		ミギワバエ科	カマキリバエ	3	
517		デガシラバエ科	フトハチモドキバエ	3	
518		シマバエ科	シマバエ科	2	
519		ミバエ科	ミバエ科	3	
520		クロバエ科	キンバエ	2	
521			ツماغロキンバエ	3	
—			クロバエ科	3	
522		ノミバエ科	ノミバエ科	2	
523		ニクバエ科	センチニクバエ	3	
524		ヤドリバエ科	ヨコジマオオハリバエ	3	
525		コウチュウ目 (鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ	3
526				ミイデラゴミムシ	2
527			オサムシ科	キイロチビゴモクムシ	2、3
528				エゾヒメヒラタゴミムシ	3
529				ニセマルガタゴミムシ	3
530				オオマルガタゴミムシ	2
531				ヒメツヤマルガタゴミムシ	3
532				オオホシボシゴミムシ	3
533				ヒメゴミムシ	3
534	キベリゴモクムシ			2、3	
535	マイマイカブリ			3	
536	オオオサムシ			2、3	
537	ヤコンオサムシ			2、3	
538	オオアトボシアオゴミムシ			2、3	
539	アトボシアオゴミムシ			2、3	
540	アオゴミムシ			3	
541	コガシラアオゴミムシ			2	
542	アトワアオゴミムシ			3	
543	オオアオモリヒラタゴミムシ			3	
544	コハラアカモリヒラタゴミムシ			3	
—	Colpodes 属			2	
545	コキノコゴミムシ			3	
546	ルリヒラタゴミムシ			3	
547	セアカヒラタゴミムシ			3	
548	フトヒゲホソアトキリゴミムシ			3	
549	クビボソゴミムシ			2	
550	スジアオゴミムシ			3	
551	ヒメケゴモクムシ			2、3	
552	コゴモクムシ			3	
553	フタホシアトキリゴミムシ			3	
554	ホシハネビロアトキリゴミムシ			3	
555	ハネビロアトキリゴミムシ			3	
556	フタホシスジバネゴミムシ			3	
557	クリイロナガゴミムシ			3	
558	マルガタナガゴミムシ			3	
559	ヨリトモナガゴミムシ			3	
560	マルガタツヤヒラタゴミムシ			3	
561	キアシツヤヒラタゴミムシ			2、3	
562	クロツヤヒラタゴミムシ	3			

表5. 2-13(12) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
563	コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	ヒメツヤヒラタゴミムシ	3	
564			オオクロツヤヒラタゴミムシ	2、3	
565		ハンミョウ科	ニワハンミョウ	2、3	
566			ナミハンミョウ	3	
567		ゲンゴロウ科	シマゲンゴロウ	3	
568			コシマゲンゴロウ	2、3	
569			ウスイロシマゲンゴロウ	3	
570			チビゲンゴロウ	3	
571			ツブゲンゴロウ	2	
572			ミズスマシ科	オオミズスマシ	2、3
573		ミズスマシ		3	
574		ガムシ科	トゲバゴマフガムシ	3	
575			ゴマフガムシ	2	
576			セマルガムシ	3	
577			キベリヒラタガムシ	3	
578			ヒメガムシ	3	
579		エンマムシ科	コエンマムシ	3	
580			エンマムシ	2	
581		シデムシ科	クロシデムシ	3	
582			ヨツボシモンシデムシ	3	
583		ハネカクシ科	ムネビロハネカクシ	3	
584			チビクロセスジハネカクシ	3	
585			アカバヒメホソハネカクシ	3	
586			サビハネカクシ	2	
587			アカセスジハネカクシ	3	
588			アオバアリガタハネカクシ	3	
589			クロオオコガシラハネカクシ	3	
590			キアシチビコガシラハネカクシ	3	
591			アカバトガリオオズハネカクシ	2、3	
592			ツماغロスジナガハネカクシ	3	
593			スジナガメダカハネカクシ	3	
—			ハネカクシ科		2、3
594			マルハナノミダマシ科	ツマアカマルハナノミダマシ	3
595			マルハナノミ科	トビイロマルハナノミ	3
596			クワガタムシ科	コクワガタ	2、3
597	スジクワガタ	2			
598	ヒラタクワガタ本土亜種	2			
599	ミヤマクワガタ	2、3			
600	コガネムシ科	コイチャコガネ	2、3		
601		アオドウガネ	3		
602		ドウガネブイブイ	2、3		
603		サクラコガネ	2		
604		ヒメコガネ	2、3		
605		アオハナムグリ	3		
606		ヒメアシナガコガネ	2、3		
607		セマダラコガネ	2、3		
608		コアオハナムグリ	2、3		
609		クロハナムグリ	2		
610		ナガチャコガネ	2、3		
611		ヒメトラハナムグリ	2		
612		アカビロウドコガネ	3		
613		ビロウドコガネ	3		
614		マルガタビロウドコガネ	3		
615		コフキコガネ	2		

表5. 2-13(13) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
616	コウチュウ目 (鞘翅目)	コガネムシ科	スジコガネ	3	
617			クリイロコガネ	3	
618			ヒラタハナムグリ	2	
619			コブマルエンマコガネ	2、3	
620			マメダルマコガネ	2、3	
621			ツヤエンマコガネ	3	
622			マメコガネ	2、3	
623			シロテンハナムグリ	2、3	
624			カナブン	2、3	
625			カブトムシ	2、3	
—			コガネムシ科	3	
626		ナガドロムシ科	タテスジナガドロムシ	3	
627			チビマルハナノミ属	2	
628		ナガハナノミ科	コヒゲナガハナノミ	2	
629		タマムシ科	クロナガタマムシ	2	
630			ヒメヒラタタマムシ	2	
631			クロタマムシ	2	
632			ウバタマムシ	3	
633			タマムシ	2、3	
634			シロオビナカボソタマムシ	2	
635			アオマダラタマムシ	3	
636			ホソツツタマムシ	1	
637			クズノチビタマムシ	3	
—			タマムシ科	3	
638			コメツキムシ科	サビキコリ	3
639				アカハラクロコメツキ	3
640	ウバタマコメツキ			3	
641	オオフタモンウバタマコメツキ			3	
642	キバネホソコメツキ			3	
643	クロツヤコメツキ			3	
644	クロツヤハダコメツキ			2	
645	クロツヤクシコメツキ	2			
646	クシコメツキ	2、3			
647	オオナガコメツキ	3			
648	ヒゲコメツキ	2、3			
649	クリイロアシプトコメツキ	1			
650	アカアシオオクシコメツキ	3			
651	シラケチビミズギワコメツキ	3			
652	ジョウカイボン科	クロヒメクビボソジョウカイ		3	
653		ウスイロクビボソジョウカイ		3	
654		ヒメジョウカイ		3	
655		セスジジョウカイ	3		
656		ジョウカイボン	3		
657		セボシジョウカイ	3		
658		クロスジツマキジョウカイ	3		
659		ウスバツマキジョウカイ	3		
660		マルムネジョウカイ	3		
661		クロヒメジョウカイ	3		
662		キンイロジョウカイ	2		
663	ホタル科	オバボタル	2、3		
664		ゲンジボタル	2		
665		ヘイケボタル	2		
666		オオマドボタル	2		
—		ホタル科	2		

表5. 2-13(14) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
667	コウチュウ目 (鞘翅目)	ベニボタル科	コクロハナボタル	2、3	
668			ベニボタル	2	
669			フトベニボタル	3	
670			クシヒゲベニボタル	3	
671			クロハナボタル	3	
672		カツオブシムシ科	クロヒゲブトカツオブシムシ	3	
673		カッコウムシ科	ホソカッコウムシ	3	
674			キムネツツカッコウムシ	3	
675		ジョウカイモドキ科	ヒロオビジョウカイモドキ	3	
676			キアシオビジョウカイモドキ	2、3	
677			ツマキアオジョウカイモドキ	3	
678			ヒメジョウカイモドキ	3	
679		ツツキノコムシ科	タテスジツツキノコムシ	3	
680		テントウムシ科	シロトホシテントウ	3	
681			ヒメアカホシテントウ	2	
682			ナナホシテントウ	2、3	
683			マクガタテントウ	2	
684			ナミテントウ	3	
685			ニジュウヤホシテントウ	3	
686			キイロテントウ	2、3	
687			ヒメカメノコテントウ	2、3	
688			コカメノコテントウ	3	
689			ベニヘリテントウ	3	
690			コクロヒメテントウ	2、3	
691			シロホシテントウ	3	
692			キスイムシ科	キイロセマルキスイ	3
693				オオナガキスイ	3
694	ヒラタムシ科		オオキバチビヒラタムシ	3	
695	テントウムシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	2		
696	オオキノコムシ科	ミツボシチビオオキノコムシ	1		
697	オオキスイムシ科	ヨツボシオオキスイ	2、3		
698	コメツキモドキ科	ルイスコメツキモドキ	2		
699	ネスイムシ科	アナバケデオネスイ	2		
700	ケシキスイ科	ツバキヒラタケシキスイ	3		
701		ヨツボシケシキスイ	2、3		
702		キベリチビケシキスイ	3		
703		アカマダラケシキスイ	3		
704		マルキマダラケシキスイ	2、3		
—		ケシキスイ科	2、3		
705	ヒメハナムシ科	ミジンムシモドキ	2		
706	ホソヒラタムシ科	ミツモンセマルヒラタムシ	3		
707	ヒメキノコムシ科	ツヤヒメキノコムシ	1		
708	アリモドキ科	ホソクビアリモドキ	3		
709		ミツヒダアリモドキ	3		
710	ホソカタムシ科	ハヤシヒメヒラタホソカタムシ	3		
711	ニセクビボソムシ科	ヤマトニセクビボソムシ	3		
712	ナガクチキムシ科	アヤモンヒメナガクチキ	3		
713		ヒメホソナガクチキ	3		
714	ツチハンミョウ科	キイロゲンセイ	3		
715	ハナノミ科	ナミアカヒメハナノミ	3		
716		ミヤマヒメハナノミ	1		
717		シロウズクロヒメハナノミ	3		
—		ハナノミ科	3		
718	コキノコムシ科	コマダラコキノコムシ	3		

表5. 2-13(15) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
719	コウチュウ目 (鞘翅目)	カミキリモドキ科	キイロカミキリモドキ	2	
720			アオカミキリモドキ	2、3	
721			モモフトカミキリモドキ	3	
722		ゴミムシダマシ科	オオクチキムシ	2、3	
723			クチキムシ	3	
724			クリノウスイロクチキムシ	2	
725			アカガネアオハムシダマシ	3	
726			アカイロアオハムシダマシ	3	
727			ルリゴミムシダマシ	2、3	
728			コスナゴミムシダマシ	2、3	
729			オオメキバネハムシダマシ	2、3	
730			ヒゲフトゴミムシダマシ	3	
731			フジナガハムシダマシ	3	
732			ニシツヤヒサゴゴミムシダマシ	3	
733			ニホンキマワリ本土亜種	3	
734			サトユミアシゴミムシダマシ	3	
735			ホンドニジゴミムシダマシ	3	
736			ミツノゴミムシダマシ	3	
737			モトヨツコブエグリゴミムシダマシ	3	
738			マルセルエグリゴミムシダマシ本土亜種	3	
—				ゴミムシダマシ科	2
739			カミキリムシ科	シナノサビカミキリ	3
740				エグリトラカミキリ	2
741		ヨツスジトラカミキリ		2、3	
742		クモガタケシカミキリ		3	
743		ヤツボシハナカミキリ		2	
744		ヨツスジハナカミキリ		2、3	
745		カタシロゴマフカミキリ		3	
746		ゴマフカミキリ		2	
747		ナガゴマフカミキリ		2	
748		ミヤマカミキリ		2	
749		ヘリグロリンゴカミキリ		2、3	
750		ヒメリンゴカミキリ		3	
751		ラミーカミキリ		2	
752		ノコギリカミキリ		2、3	
753		トガリシロオビスアビカミキリ		2	
754		アトジロサビカミキリ		3	
755		ベニカミキリ		2	
756		セミスジコブヒゲカミキリ		2	
757		ヒトオビアラゲカミキリ		3	
758		クロカミキリ		2、3	
759	ヨツボシカミキリ	3			
760	クビアカトラカミキリ	3			
761	ハムシ科	アカガネサルハムシ		2、3	
762		タマツツハムシ		3	
763		スジカミナリハムシ本州以南亜種		3	
764		コカミナリハムシ		3	
765		サメハダツブノミハムシ		3	
766		オオアカマルノミハムシ		2	
767		ウリハムシ	2、3		
768		クロウリハムシ	2、3		
769		アオバネサルハムシ	2		
770		チャバラマメゾウムシ	3		
771		アズキマメゾウムシ	3		

表5. 2-13(16) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
772	コウチュウ目 (鞘翅目)	ハムシ科	ヒメドウガネトビハムシ	3	
773			キバラヒメハムシ	3	
774			ムシクソハムシ	2、3	
775			ヨモギハムシ	2、3	
776			キアシアオハムシ	3	
777			パラルリツツハムシ	2、3	
778			チビルリツツハムシ	3	
779			キアシルリツツハムシ	3	
780			クロボシツツハムシ	3	
781			ジュウシホシツツハムシ	3	
782			カタビロトゲハムシ	3	
783			マダラカサハラハムシ	3	
784			クロハムシ	3	
785			ジュンサイハムシ	3	
786			イタドリハムシ	2、3	
787			フジハムシ	2、3	
788			キバネマルノミハムシ	3	
789			ケブカクロナガハムシ	3	
790			アカクビボソハムシ	2	
791			サンゲトビハムシ	3	
792			クビアカトビハムシ	3	
793			コフキケブカサルハムシ	3	
794			ホタルハムシ	2、3	
795			ドウガネツヤハムシ	3	
796			ハギツツハムシ	3	
797			ムネアカキバネサルハムシ	3	
798			ヨツボシハムシ	2、3	
799			クロオビツツハムシ	3	
800			ブチヒゲケブカハムシ	2	
801			キボシルリハムシ	3	
802			キイロナガツツハムシ	3	
803			ルリウスバハムシ	2、3	
804			ヒゲナガウスバハムシ	3	
805			イチモンジカメノコハムシ	2、3	
806			トビサルハムシ	3	
807			ヒゲナガゾウムシ科	ナガフトヒゲナガゾウムシ	3
808			ホソクチゾウムシ科	ヒレルホソクチゾウムシ	3
809			オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ	2、3
810				ウスアカオトシブミ	3
811				ハイイロチョッキリ	3
812				チビイクビチョッキリ	3
813				カシルリオトシブミ	2、3
814				オオケブカチョッキリ	3
815				ウメチョッキリ	3
816				ヒメケブカチョッキリ	3
817				ヒメコブオトシブミ	2
818				カシルリチョッキリ	3
819				ゾウムシ科	シロオビチビシギゾウムシ
820			ツヤツチゾウムシ		2
821			クリシギゾウムシ		3
822			シロコブゾウムシ		2、3
823			アシナガオニゾウムシ		3
824			ゴボウゾウムシ		2
825			ケブカクチブトゾウムシ		2

表5. 2-13(17) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
826	コウチュウ目 (鞘翅目)	ゾウムシ科	ウスアオクチブトゾウムシ	3	
827			マツオオキクイゾウムシ	2	
828			チビヒョウタンゾウムシ	2	
829			カシワクチブトゾウムシ	3	
830			マダラノミゾウムシ	3	
831			オジロアシナガゾウムシ	2、3	
832			クリアナアキゾウムシ	3	
833			ニセマツノシラホシゾウムシ	3	
834			ケナガサルゾウムシ	3	
—			ゾウムシ科	2	
835			イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	3
836			キクイムシ科	アトマルキクイムシ	3
837			ツツミキクイムシ	3	
838			ハチ目 (膜翅目)	ヒメバチ科	ハキヒメバチ
839	クロモンアメバチ	3			
840	ムラサキウスアメバチ	3			
841	コンボウアメバチ	3			
842	マルヤマメンガタヒメバチ	3			
—	ヒメバチ科	3			
843	コハナバチ科	コハナバチ科			2
844	ハバチ科	ハバチ科		3	
845	コマユバチ科	キイロコウラコマユバチ		3	
846		オオアメイロコンボウコマユバチ		3	
—		コマユバチ科		2	
847	シリアゲコバチ科	シリアゲコバチ		2	
848	コンボウヤセバチ科	コンボウヤセバチ科		2	
849	アリ科	アシナガアリ		2、3	
850		オオハリアリ		2、3	
851		クロオオアリ		2、3	
852		ミカドオオアリ		2、3	
853		ヒラズオオアリ		3	
854		ムネアカオオアリ		2、3	
855		ヨツボシオオアリ		3	
856		ウメマツオオアリ		3	
857		キイロシリアゲアリ		2、3	
858		シベリアカタアリ		3	
859		クロヤマアリ		2、3	
860		クロクサアリ		3	
861		トビイロケアリ		2、3	
862		ヒメキイロケアリ		3	
863		ヒメアリ		2	
864		カドフシアリ		2	
865		アメイロアリ		2、3	
866		アズマオオズアリ		2	
867		サムライアリ		3	
868		トゲアリ		2、3	
869		チクシトゲアリ		2、3	
870		アミメアリ		2、3	
871		ウロコアリ		2	
872		トビイロシワアリ		3	
—		アリ科		3	
873		スズメバチ科		オオフタオビドロバチ本土亜種	2
874				キボシトックリバチ	2
875				ミカドトックリバチ	2、3

表5. 2-13(18) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	
876	ハチ目 (膜翅目)	スズメバチ科	スズバチ	2、3	
877			ムモンホソアシナガバチ	2	
878			ヒメホソアシナガバチ	3	
879			ナミカバフドロバチ	2	
880			フタモンアシナガバチ本土亜種	2、3	
881			ヤマトアシナガバチ	2	
882			セグロアシナガバチ本土亜種	3	
883			キボシアシナガバチ	2、3	
884			キアシナガバチ本土亜種	2、3	
885			コアシナガバチ	2、3	
886			キオビチビドロバチ	3	
887			コガタスズメバチ	3	
888			ヒメスズメバチ	2	
889			オオスズメバチ	2、3	
890			キイロスズメバチ	2、3	
891			クロスズメバチ	2	
892			クモバチ科	オオモンクロクモバチ	3
893				キオビクモバチ	3
—				クモバチ科	2
894			ツチバチ科	シロオビハラナグツチバチ	2、3
895				アカスジツチバチ本土亜種	2、3
896			ギングチバチ科	シロスジギングチ	3
897				メスキングチ	3
898				クロバネクモカリバチ	2
899	アリマキバチ科	カオキンヨコバイバチ	3		
900	アナバチ科	ヤマトルリジガバチ	2、3		
901		ミカドジガバチ	2		
—		アナバチ科	2、3		
902	ミツバチ科	ニホンミツバチ	2、3		
903		コマルハナバチ本土亜種	3		
904		キオビツヤハナバチ	2		
905		ニッポンヒゲナガハナバチ	3		
906		キムネクマバチ	3		
907	ハキリバチ科	オオトガリハナバチ	3		
908	ヒメハナバチ科	ヒメハナバチ科	3		
合計 20目 189科 908種					

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

(7) 底生動物

事業実施区域及びその周囲においては、表5. 2-14に示すとおり、9綱22目76科137種の底生動物が確認されている。

表5. 2-14(1) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた底生動物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	
1	扁形動物門 有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	2、3	
2	紐形動物門 有針綱	ハリヒモムシ目	マミズヒモムシ科	マミズヒモムシ科	2	
3	軟体動物門 腹足綱	新生腹足目	タニシ科	オオタニシ	2	
4			カワニナ科	カワニナ	2	
5		汎有肺目	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	3	
6				モノアラガイ	2	
7			サカマキガイ科	サカマキガイ	2、3	
8			ヒラマキガイ科	カワネジガイ	2	
9				ヒラマキミズマイマイ	2	
10				カワコザラガイ	2、3	
11		軟体動物門 二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	2、3
12		環形動物門 ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	エラミミズ	3
13	ユリミミズ				3	
14	クロオビミズミミズ				3	
15	ミズミミズ属				3	
—	イトミミズ亜科				3	
16	ツリミミズ目		ヒモミミズ科	ヤマトヒモミミズ	2	
17				フトミミズ科	<i>Pheretima</i> 属	2
—			フトミミズ科	フトミミズ科	3	
—	—		—	ミミズ綱	1、2、3	
18	環形動物門 ヒル綱		吻蛭目	ヒラタビル科	ハバヒロビル	2、3
19		カイビル			2	
20		イボビル			2	
21		アタマビル			2	
—		ヒラタビル科			2	
22		吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル	2、3	
23				ナマイシビル	3	
—				イシビル科	3	
—				—	ヒル綱	1
24		節足動物門	—	—	貝虫亜綱	2
25	顎脚綱	チョウ目	エラオ科	チョウ	2	
26	節足動物門 軟甲綱	ワラジムシ目	ニセウオノエ科	エビノコバン	2	
27		エビ目	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	3	
28			テナガエビ科	スジエビ	2、3	
29			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	2、3	
30			サワガニ科	サワガニ	3	
31	節足動物門 昆虫綱	カゲロウ目 (蜉蝣目)	トビイロカゲロウ科	ヒメトビイロカゲロウ	2	
32				ナミトビイロカゲロウ	2、3	
—				トビイロカゲロウ属	1	
33		カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	1		
34		モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	3		

表5. 2-14(2) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた底生動物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典		
35	節足動物門 昆虫綱	カゲロウ目 (蜉蝣目)	モンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ	2		
36			ヒメシロカゲロウ科	ヒメシロカゲロウ属	1、2、3		
37			マダラカゲロウ科	オオクママダラカゲロウ	2、3		
38				シリナガマダラカゲロウ	2		
—				マダラカゲロウ属	1		
39				エラブタマダラカゲロウ	2		
40				ヒメフタオカゲロウ科	マエグロヒメフタオカゲロウ	2、3	
41			コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	3		
42				サホコカゲロウ	2、3		
43				ヤマトコカゲロウ	2、3		
—				コカゲロウ属	1、2		
44				フタバカゲロウ	2		
45				タマリフタバカゲロウ	2		
—				フタバカゲロウ属	3		
—				コカゲロウ科	3		
46				ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	1	
47				チラカゲロウ科	チラカゲロウ	1	
48			ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	1、2、3		
49			トンボ目 (蜻蛉目)	アオイトトンボ科	アオイトトンボ	3	
50					オツネイトンボ	3	
51				イトトンボ科	オオイトトンボ	1	
—					クロイトトンボ属	3	
—					イトトンボ科	2	
52				モノサシトンボ科	モノサシトンボ	3	
53				カワトンボ科	ハグロトンボ	3	
54				ヤンマ科	ヤブヤンマ	3	
55				サナエトンボ科	ヤマサナエ	3	
56					キイロサナエ	3	
57					オナガサナエ	2	
58					コオニヤンマ	1	
59					タベサナエ	2、3	
60					フタスジサナエ	2、3	
61				オグマサナエ	2		
62				オニヤンマ科	オニヤンマ	3	
63				エゾトンボ科	コヤマトンボ	2、3	
64				トンボ科	ショウジョウトンボ	3	
65					ヨツボシトンボ	3	
66					シオカラトンボ	2、3	
67					オオシオカラトンボ	3	
68					コシアキトンボ	3	
69		マユタテアカネ			3		
70		リスアカネ			3		
71		ネキトンボ			3		
72		カワゲラ目 (セキ翅目)			クロカワゲラ科	ヤマトクロカワゲラ	2
—						クロカワゲラ科	2
73				オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属	3	
74					オナシカワゲラ属	2、3	

表5. 2-14(3) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた底生動物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	
75	節足動物門 昆虫綱	カメムシ目 (半翅目)	アメンボ科	オオアメンボ	3	
76				アメンボ	2、3	
77				ヒメアメンボ	3	
78			イトアメンボ科	ヒメイトアメンボ	3	
79			ミズムシ科	ミズムシ	1、2、3	
80				エサキコミズムシ	3	
81			コオイムシ科	コオイムシ	3	
82			タイコウチ科	タイコウチ	2	
83				ミズカマキリ	2	
84				ヒメミズカマキリ	2、3	
85			マツモムシ科	コマツモムシ	2、3	
86				マツモムシ	3	
87			マルミズムシ科	マルミズムシ	3	
88			ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	2、3
89					クロスジヘビトンボ属	3
90				センブリ科	センブリ属	2
91			トビケラ目 (毛翅目)	ムネカクトビケラ科	ムネカクトビケラ	3
92				シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	1、2、3
93	ギフシマトビケラ	2				
94	ウルマーシマトビケラ	1、2、3				
95	シロフツヤトビケラ属	1				
96	イワトビケラ科	ミヤマイワトビケラ属		3		
97	ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属		2、3		
98	アシエダトビケラ科	コバントビケラ		2		
99	ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ		2		
100	ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ属		2		
101	エグリトビケラ科	エグリトビケラ		2		
102	トビケラ科	アミメトビケラ		3		
103	マルバネトビケラ科	マルバネトビケラ		2		
—	—	トビケラ目		2		
104	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	ミズメイガ亜科	2		
105	ハエ目 (双翅目)	オビヒメガガンボ科	ホソオビヒメガガンボ属	2、3		
106		ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	2、3		
107			ヒゲナガガガンボ属	3		
108			クロヒメガガンボ属	2		
109		ガガンボ科	ガガンボ属	2、3		
—			ガガンボ科	1		
110		ヌカカ科	ヌカカ科	2、3		
111		ケヨソイカ科	ケヨソイカ科	2、3		
112		ユスリカ科	ユスリカ属	2、3		
113			ツヤユスリカ属	3		
114			ホソミユスリカ属	3		
115			ナガスネユスリカ属	3		
116			エリユスリカ属	3		
117			ハモンユスリカ属	3		
118	ヒゲユスリカ属	2、3				

表5. 2-14(4) 事業実施区域及びその周囲で生息情報が得られた底生動物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典		
—	節足動物門 昆虫綱	ハエ目 (双翅目)	ユスリカ科	ユスリカ亜科	3		
119				モンユスリカ亜科	2、3		
—				ユスリカ科	1、2		
120			ホソカ科	ホソカ属	3		
121				ブユ科	アシマダラブユ属	2、3	
122				ナガレアブ科	クロモンナガレアブ	2	
123					コモンナガレアブ	2	
124					サツマモンナガレアブ	2	
—					ナガレアブ科	1	
125				アブ科	アカウシアブ	2	
—					アブ科	2	
—				—	ハエ目	2	
126				コウチュウ目 (鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ケシゲンゴロウ属	2
127			ツブゲンゴロウ			3	
—			ツブゲンゴロウ亜科			3	
128			セスジゲンゴロウ属			2	
129			ヒメゲンゴロウ			3	
—			ヒメゲンゴロウ亜科			2	
130			ミズスマシ科			オオミズスマシ	2、3
131		ミズスマシ				2、3	
132		ガムシ科	タマガムシ		2		
—			ガムシ科		2		
133		ヒメドロムシ科	イブシアシナガドロムシ		2		
—			ヒメドロムシ亜科		2		
134		ナガドロムシ科	ナガドロムシ科		1		
135		ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ		2		
136			クシヒゲマルヒラタドロムシ		2		
137			ヒラタドロムシ		1、2		
合計 9 綱 22 目 76 科 137 種							

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

(8) 重要な種及び注目すべき生息地

1) 重要な動物

① 重要な動物の選定基準

重要な動物の選定基準は、表5.2-15に示すとおりである。

表5.2-15 重要な動物の選定基準

番号	法律及び文献名等	選定基準のカテゴリー
①	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号)	特別：国指定の特別天然記念物 国：国指定の天然記念物
	「兵庫県文化財保護条例」 (昭和39年4月1日兵庫県条例第58号)	県：県指定の天然記念物
	「神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例」 (平成9年3月31日神戸市条例第50号)	市：市指定の天然記念物
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日法律第75号)	第一：特定第一種国内希少野生動植物種 第二：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
③	「神戸市生物多様性の保全に関する条例」 (平成29年10月10日神戸市条例第7号)	市指：神戸市指定野生動植物種
④	「環境省レッドリスト(2020)」 (環境省、令和2年)	EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
⑤	「兵庫県版レッドリスト2017(哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類)」(兵庫県、令和2年) 「兵庫県版レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)」(兵庫県、平成25年) 「兵庫県版レッドリスト2013(鳥類)」 (兵庫県、平成24年) 「兵庫県版レッドリスト2012(昆虫類)」 (兵庫県、平成23年)	EX:絶滅 A:Aランク B:Bランク C:Cランク 注:要注目種 地:地域限定貴重種 調:要調査種
⑥	「神戸の希少な野生動植物ー神戸版レッドデータ2020ー」(神戸市、令和3年)	今:今見られない A:Aランク B:Bランク C:Cランク 調:要調査

## ② 重要な動物

### ア. 哺乳類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-16に示すとおり、3目5科6種の重要な哺乳類が確認されている。

表5.2-16 重要な哺乳類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準						
					①	②	③	④	⑤	⑥	
1	モグラ目（食虫目）	モグラ科	ヒミズ	2							B
2	ネズミ目（齧歯目）	リス科	ニホンリス	3							B
3		ネズミ科	カヤネズミ	2							B
4	ネコ目（食肉目）	イヌ科	キツネ	2、3							調
5		イタチ科	テン	2、3							調
6			イタチ	2、3							調
合計 5科6種					0	0	0	0	0	0	6

注) 選定基準の略称は、表5.2-15参照。

出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」（神戸市、昭和56年）

2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」（兵庫県、平成3年）

3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」（兵庫県、神戸市、平成11年）

4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書（兵庫県）」（環境庁、昭和55年）

## イ. 鳥類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-9に示すとおり、10目14科26種の重要な鳥類が確認されている。

表5.2-17 重要な鳥類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準					
					①	②	③	④	⑤	⑥
1	キジ目	キジ科	ヤマドリ	3					注	調(繁殖)
2	カモ目	カモ科	オンドリ	3				DD	B	C(越冬)
3	ペリカン目	サギ科	アマサギ	1						B(繁殖)
4			コサギ	1、3						B(繁殖)
5			チュウサギ	1				NT	C	B(繁殖)
6			ゴイサギ	2						B(繁殖)
7	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ	1						B(繁殖)
8			ホトトギス	1、2、3						B(繁殖)
9	チドリ目	チドリ科	イカルチドリ	2					B	B(繁殖)、B(越冬)
10	タカ目	タカ科	オオタカ	3				NT	B	B(繁殖)、C(越冬)
11			ハイタカ	3				NT	C	C(越冬)
12			サシバ	1、2				VU	B	A(繁殖)
13			ノスリ	2					B	C(越冬)
14			ハチクマ	3				NT	B	B(繁殖)
15	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	3						B(繁殖)、B(越冬)
16	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	1					注	
17	キツツキ目	キツツキ科	アカゲラ	2					C	C(越冬)
18			アオゲラ	1、3					C	C(繁殖)、C(越冬)
19	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	1				VU	C	B(繁殖)
20		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	1、2、3						C(繁殖)
21		ムシクイ科	メボソムシクイ	3					B	
22		ヒタキ科	オオルリ	1、2、3					注	
23			コサメビタキ	2					C	
24			ルリビタキ	2、3					A	
25			トラツグミ	3						C(繁殖)
26		ホオジロ科	アオジ	2、3					A	
合計 10目14科26種					0	0	0	7	18	20

注) 選定基準の略称は、表5.2-15参照。

出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)

2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)

3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)

4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## ウ. 爬虫類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-18に示すとおり、2目3科6種の重要な爬虫類が確認されている。

表5.2-18 重要な爬虫類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準					
					①	②	③	④	⑤	⑥
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	3				NT	C	A
2	有鱗目	タカチホヘビ科	タカチホヘビ	3					C	A
3		ナミヘビ科	シロマダラ	3					C	B
4			アオダイショウ	2、3						調
5			シマヘビ	2、3						調
6			ヒバカリ	2					注	C
合計 2目3科6種					0	0	0	1	4	6

注) 選定基準の略称は、表5.2-15参照。

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## エ. 両生類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-19に示すとおり、2目4科6種の重要な両生類が確認されている。

表5.2-19 重要な両生類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準					
					①	②	③	④	⑤	⑥
1	有尾目	サンショウウオ科	セトウチサンショウウオ	3、4				VU	B	B
2		イモリ科	アカハライモリ	3				NT	注	B
3	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	3					C	C
4		アカガエル科	ツチガエル	2					C	B
5			トノサマガエル	2、3				NT		
6			ニホンアカガエル	2、3					C	C
合計 2目4科6種					0	0	0	3	5	5

注) 選定基準の略称は、表5.2-15参照。

- 出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)  
 2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)  
 3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)  
 4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## オ. 魚類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-20に示すとおり、3目4科6種の重要な魚類が確認されている。

表5.2-20 重要な魚類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準						
					①	②	③	④	⑤	⑥	
1	コイ目	コイ科	ギンブナ	2、3							C
2		ドジョウ科	オオシマドジョウ	1							B
3			チュウガタスジシマドジョウ	1				VU			B
4			ドジョウ	2、3				NT	注		C
5	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	2、3				VU	注	C	
6	スズキ目	ハゼ科	トウヨシノボリ類 <sup>注2)</sup>	3				※	※		
—			ヨシノボリ属 <sup>注3)</sup>	2				※	※	※	
合計 3目4科6種					0	0	0	3	2	5	

注) 1. 選定基準の略称は、表5.2-15参照。

2. トウヨシノボリ類には、選定基準④、⑤及び⑥に該当する種が含まれる。

3. ヨシノボリ属には、選定基準④、⑤及び⑥に該当する種が含まれる。

出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)

2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)

3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)

4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## カ. 昆虫類

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-21に示すとおり、8目22科36種の重要な昆虫類が確認されている。

表5.2-21(1) 重要な昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準					
					①	②	③	④	⑤	⑥
1	トンボ目 (蜻蛉目)	イトトンボ科	オオイトトンボ	2					B	B
2		ヤンマ科	カトリヤンマ	3					C	B
3		サナエトンボ科	キイロサナエ	3				NT	B	C
4			フタスジサナエ	2、3				NT		
5		エゾトンボ科	タカネトンボ	2					注	調
6			エゾトンボ	2、4					C	B
7		トンボ科	ヨツボシトンボ	2、3					注	C
8			アキアカネ	2、3					注	C
9			ナニワトンボ	1、2				VU	C	C
10			ノシメトンボ	2						C
11			マイコアカネ	2						C
12			ヒメアカネ	2						注
13	カマキリ目 (蟷螂目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ	3					注	
14	バッタ目 (直翅目)	マツムシ科	スズムシ	3					注	
15	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ハルゼミ	3、4					注	
16		コオイムシ科	コオイムシ	3				NT		
17			タガメ	4		第二		VU	B	今
18			ミズカマキリ	3					注	調
19	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ	3						調
20	チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	ホソバセセリ	2、3						C
21			オオチャバネセセリ	3						
22		シジミチョウ科	クロシジミ	2				EN	A	A
23		タテハチョウ科	メスグロヒョウモン	2						調
24			オオムラサキ	2				NT	C	C
25		アゲハチョウ科	ギフチョウ	4			市指	VU	B	A
26		ドクガ科	ナチキシタドクガ	3					調	
27			トラサンドクガ	3				NT		
28			ヤクシマドクガ	3						調
29	ヤガ科	ガマヨトウ	3				VU			

表5.2-21(2) 重要な昆虫類

番号	目名	科名	種名	出典	選定基準					
					①	②	③	④	⑤	⑥
30	コウチュウ目 (鞘翅目)	ゲンゴロウ科	シマゲンゴロウ	3				NT		B
31		ミズスマシ科	オオミズスマシ	2、3				NT		B
32			ミズスマシ	3				VU	C	A
33		ホタル科	ヘイケボタル	2					注	調
34		カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ	3				EN		A
35	ハチ目 (膜翅目)	アリ科	トゲアリ	2、3				VU		調
36		スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ	2				DD		
合計 8目 22科 36種					0	1	1	16	21	25

注) 選定基準の略称は、表5.2-15参照。

出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)

2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)

3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)

4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## キ. 底生動物

事業実施区域及びその周囲においては、表5. 2-22に示すとおり、4綱8目12科20種の重要な底生動物が確認されている。

表5. 2-22 重要な底生動物

番号	分類群	目名	科名	種名	出典	選定基準						
						①	②	③	④	⑤	⑥	
1	軟体動物門	新生腹足目	タニシ科	オオタニシ	2				NT			
2	腹足綱	汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ	2				NT			
3			ヒラマキガイ科	カワネジガイ	2				CR	A		
4				ヒラマキミズマイマイ	2				DD			
5				カワコザラガイ	2、3				CR			
6	軟体動物門 二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	2、3				VU	注	C	
7	環形動物門 ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	イボビル	2				DD			
8	節足動物門 昆虫綱	カゲロウ目 (蜉蝣目)	ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	1						調	
9		トンボ目 (蜻蛉目)	イトトンボ科	オオイトトンボ	1					B	B	
10				サナエトンボ科	キイロサナエ	3				NT	B	C
11					オナガサナエ	2						C
12					タバサナエ	2、3				NT		C
13					フタスジサナエ	2、3				NT		
14					オグマサナエ	2				NT		C
15		トンボ科	ヨツボシトンボ	3						注	C	
16		カメムシ目 (半翅目)	コオイムシ科	コオイムシ	3				NT			
17				ミズカマキリ	2						注	調
18		コウチュウ目 (鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	3						C	
19			ミズスマシ科	オオミズスマシ	2、3				NT		B	
20				ミズスマシ	2、3				VU	C	A	
合計 4綱8目12科20種						0	0	0	14	7	12	

注) 選定基準の略称は、表5. 2-15参照。

出典) 1. 「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)

2. 「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)

3. 「西神第3地区工業団地造成事業の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県、神戸市、平成11年)

4. 「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(兵庫県)」(環境庁、昭和55年)

## 2) 注目すべき生息地

注目すべき生息地の選定基準は、表5. 2-23に示すとおりである。

事業実施区域及びその周囲には、注目すべき生息地は存在しない。

表5. 2-23 注目すべき生息地の選定基準

番号	法律及び文献名等	選定基準のカテゴリー
①	「文化財保護法」 (昭和25年5月30日法律第214号)	特別天然記念物または天然記念物に指定された動物の生息地
	「兵庫県文化財保護条例」 (昭和39年4月1日兵庫県条例第58号)	天然記念物に指定された動物の生息地
	「神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例」 (平成9年3月31日神戸市条例第50号)	天然記念物に指定された動物の生息地
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年6月5日法律第75号)	生息地等保護区 (動物に係るもの)
③	「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」 (平成4年9月28日条約第7号)	自然遺産の登録基準に該当するもの
④	「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」 (昭和55年9月22日条約28号)	指定湿地
⑤	「自然公園法」 (昭和32年6月1日法律第161号)	特別保護地区
⑥	「自然環境保全法」 (昭和47年6月22日法律第85号)	原生環境保全地域、自然環境保全地域
⑦	「兵庫県立自然公園条例」 (昭和38年7月5日兵庫県条例第80号)	特別地域
⑧	「環境の保全と創造に関する条例」 (平成7年7月18日兵庫県条例第75号)	自然環境保全地域、自然海浜保全地区
⑨	「神戸の希少な野生動植物－神戸版レッドデータ2020－」 (神戸市、令和3年)	鳥類サンクチュアリ指定地

## 5.2.6. 生態系

### (1) 生態系の区分

事業実施区域及びその周囲における生態系は、表5.2-24に示すとおり、森林生態系、草地生態系、水域生態系及び市街地生態系に区分される。

表5.2-24 生態系の区分

生態系の区分	地形・土地利用	植生
森林生態系	丘陵地	シイ・カシ二次林 アベマキーコナラ群集 モチツツジアカマツ群集 など
草地生態系	低地 人工改変地	水田雑草群落 畑雑草群落 ゴルフ場・芝地
水域生態系	河川、ため池	開放水域
市街地生態系	市街地	市街地、造成地、工場地帯

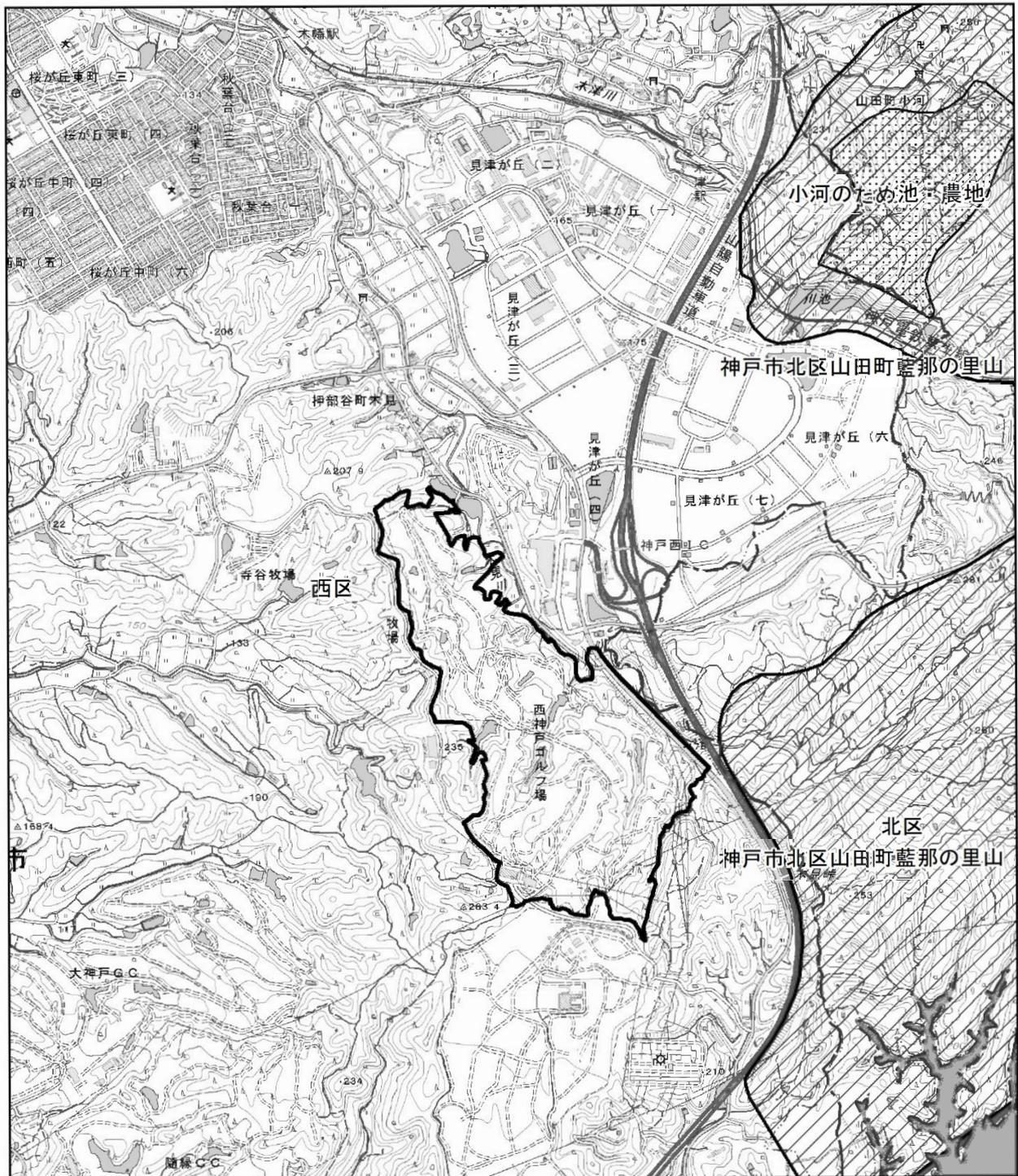
## (2) 重要な生態系

事業実施区域及びその周囲においては、表5.2-25及び図5.2-11に示すとおり、「兵庫県版レッドデータブック2011（地形・地質・自然景観・生態系）」（兵庫県、平成23年）により、神戸市北区山田町藍那の里山が、重要な生態系Cランクとして選定されている。

表5.2-25 重要な生態系

生態系区分	区分レベル	名称	市町名	場所	含まれる生態系			概要	判断基準						ランク	
					生態系区分	区分レベル	名称		場所	希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性		人との関わり
里地里山	大	神戸市北区山田町藍那の里山	神戸市北区山田町	藍那・小河	-			良好な里地・里山環境が残されている地域。二次林と棚田を始めとする農地、農地周辺の畦畔草地、ため池など多様な環境からなる。オオタカ、フクロウなど猛禽類やチビクワガタ、クロマダラタマムシ、オオムツボシタマムシなどの多様な昆虫類が生息する。	○	○				○	○	C
					ため池・農地	中・小	-	小河								

出典) 「兵庫県版レッドデータブック2011（地形・地質・自然景観・生態系）」（兵庫県、平成23年）



-  事業実施区域
-  大生態系
-  大生態系に内包される中・小生態系

出典)「兵庫県版レッドデータブック2011(地形・地質・自然景観・生態系)」  
(兵庫県、平成23年)



図5.2-11 重要な生態系の位置

### 5.2.7. 人と自然との触れ合いの活動の場

事業実施区域及びその周囲における人と自然との触れ合いの活動の場の概要は、表5.2-26及び図5.2-12に示すとおりである。

表5.2-26 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

番号	名称	種別	概要	出典
1	「太陽と緑の道」 コース24 栄～神出山田自転車道～山田池～木津	ハイキング コース	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。栄駅から山田駅を経由して木津駅に至るコース。	①②
2	「太陽と緑の道」 コース26 太山寺～寺谷～木幡	ハイキング コース	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。太山寺から木幡駅に至るコース。	①②
3	「太陽と緑の道」 コース27 太山寺～木津	ハイキング コース	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。太山寺から木津駅に至るコース。 調査経路は、倒木や草木が茂っていることで通行困難になっていることから、令和3年11月現在、一時的に休止されている。	①② ③④ ⑤
4	西区ふるさと散策の道 「粟生線沿線散策のみち」	ウォーキング コース	木津駅をスタートし、神戸電鉄粟生線沿いに歩くウォーキングコース。	⑥
5	キーナの森	公園	隣接する「あいな里山公園（国営明石海峡公園神戸地区）」とともに神戸市における「生物多様性保全のシンボル拠点」として整備された公園。藍那地区は神戸の中でも日本の原風景ともいえる豊かな里山環境が残っている地域であり、園内には、勾配の緩やかな尾根筋の園路広場や自然とのふれあいを目的とした変化に富んだ園路が整備されている。	⑦
6	国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園	公園	明石海峡大橋を中心とした周辺地域の広域レクリエーションに対応するため設置された国営公園。公園の基本理念は「自然と人との共生、人と人との交流」。神戸地区「あいな里山公園」のコンセプトは「里地里山文化公園」。地域の里地里山の景観を保全再生し、大都市近郊で誰もが気軽に里地里山文化を体験できる公園として、平成28年5月28日に第1期開園を迎えた。春には桜、秋には紅葉が見ごろとなる。 調査地域は、令和3年11月現在、未開園区域となっている。	⑧

注) 表中の番号は図5.2-12に対応している。

出典) ①「自然歩道「太陽と緑の道」」（神戸市ホームページ、令和3年11月現在）

②「神戸国際港都建設計画 西神第3地区工業団地造成事業（神戸複合産業団地）の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」（兵庫県・神戸市、平成11年）

③「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」（神戸市、昭和56年）

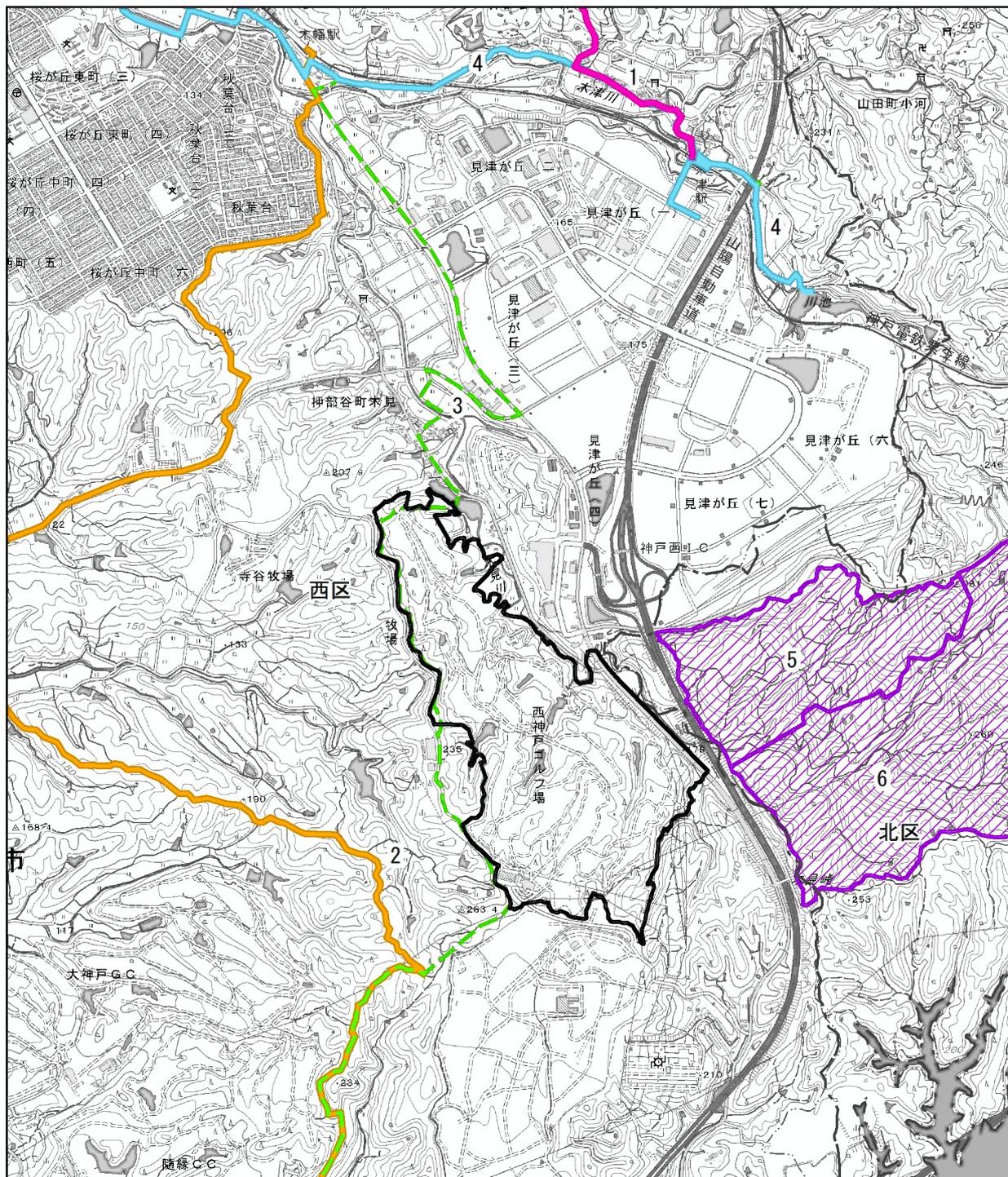
④「神戸複合産業団地建設事業環境影響評価書」（神戸市、昭和63年）

⑤「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」（兵庫県、平成3年）

⑥「西区ふるさと散策のみち ウォーキングマップ」（神戸市ホームページ、令和3年11月現在）

⑦「キーナの森 森林保全活動支援業務報告書」（（公財）ひょうご環境創造協会、令和3年）

⑧「国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園」（あいな里山公園ホームページ、令和3年11月現在）



- 事業実施区域
- ハイキングコース
- ウォーキングコース
- 公園

注) 番号は表5.2-26に対応している。  
 出典) 「自然歩道「太陽と緑の道」」  
 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
 「西区ふるさと散策のみち ウォーキングマップ」  
 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
 「キーナの森 森林保全活動支援業務報告書」  
 ((公財)ひょうご環境創造協会、令和3年)  
 「国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園」  
 (あいな里山公園ホームページ、令和3年11月現在)



図5.2-12 人と自然との触れ合いの活動の場

## 5.2.8. 景観

### (1) 景観資源

事業実施区域及びその周囲における景観資源は、表5. 2-27及び図5. 2-13に示すとおりである。

表5. 2-27(1) 景観資源

番号	名称	概要	出典
1	月が丘公園	自然が多く残る公園。太陽と緑の道からつながるハイキングコース沿いでは、春にはコバノミツバツツジやレンギョウなどの花が、秋には紅葉が楽しめる。	①
2	丹生山・明要寺参道町石群	神戸市指定記念物（史跡）に指定されている。山頂の明要寺跡から山麓の参道口までには、永徳3年（1383）の銘がある町石を含め、26基の町石が並んでいる。	②、③
3	H家住宅	神戸市登録文化財（建造物）に指定されている。同名の建造物が4棟指定されており、そのうちの1棟。	②、③
4	H家住宅	神戸市登録文化財（建造物）に指定されている。同名の建造物が4棟指定されており、そのうちの1棟。	②、③
5	近江寺本堂	神戸市指定文化財（建造物）に指定されている。本堂は寛文2年（1662）の造営だが、細部の意匠に近世らしさをみせながら、中世の形式を守って落ち着いた趣を持ち、五間堂の遺構として重要なもの。	②、③
6	大歳神社	シンボルツリーとしてスギの木がある。サクラがきれいに咲く。	④
7	棚田とため池 （北区山田町小河の芦池地区）	小さなため池が点在する丘陵地に、良好な水辺及び草地環境が残されており、ため池、水田及び畦畔の織り成す景観を構成している。「兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2011（地形・地質・自然景観・生態系）」（兵庫県、平成23年）において要注目の自然景観に選定されている。	⑤
8	木津の六地藏磨崖仏	神戸市指定記念物（史跡）に指定されている。長さ約100mの露出した岩塊に、長方形の彫りくぼめを造り、その中に磨崖仏が刻まれている。中央には阿弥陀如来の坐像、左右に3体ずつ六地藏の立像が陽刻されている。	②、③
9	端谷城跡	神戸市指定記念物（史跡）に指定されている。堀切によって丘陵の一部を切断し、急峻、堅固な城塞を築きあげており、標高140mの本丸からは眺望に優れ、衣笠氏が支配した蘆谷の谷筋を見通すことができる。	②、③
10	中川家住宅	神戸市景観形成重要建築物等に指定されている、木見地区の旧道（県道）沿いに立地する茅葺民家。東側眼下に木見川と周辺の田畑が望め、南北に走る県道からは南側の池の向こうに建つ姿が印象的で、また、川の反対側の東の斜面からも、山を背景とした住宅の姿を望むことができる。	⑥
11	キーナの森	隣接する「あいな里山公園（国営明石海峡公園神戸地区）」とともに神戸市における「生物多様性保全のシンボル拠点」として整備された公園。藍那地区は神戸の中でも日本の原風景ともいえる豊かな里山環境が残っている地域であり、園内には、勾配の緩やかな尾根筋の園路広場や自然とのふれあいを目的とした変化に富んだ園路が整備されている。	⑦

表5. 2-27(2) 景観資源

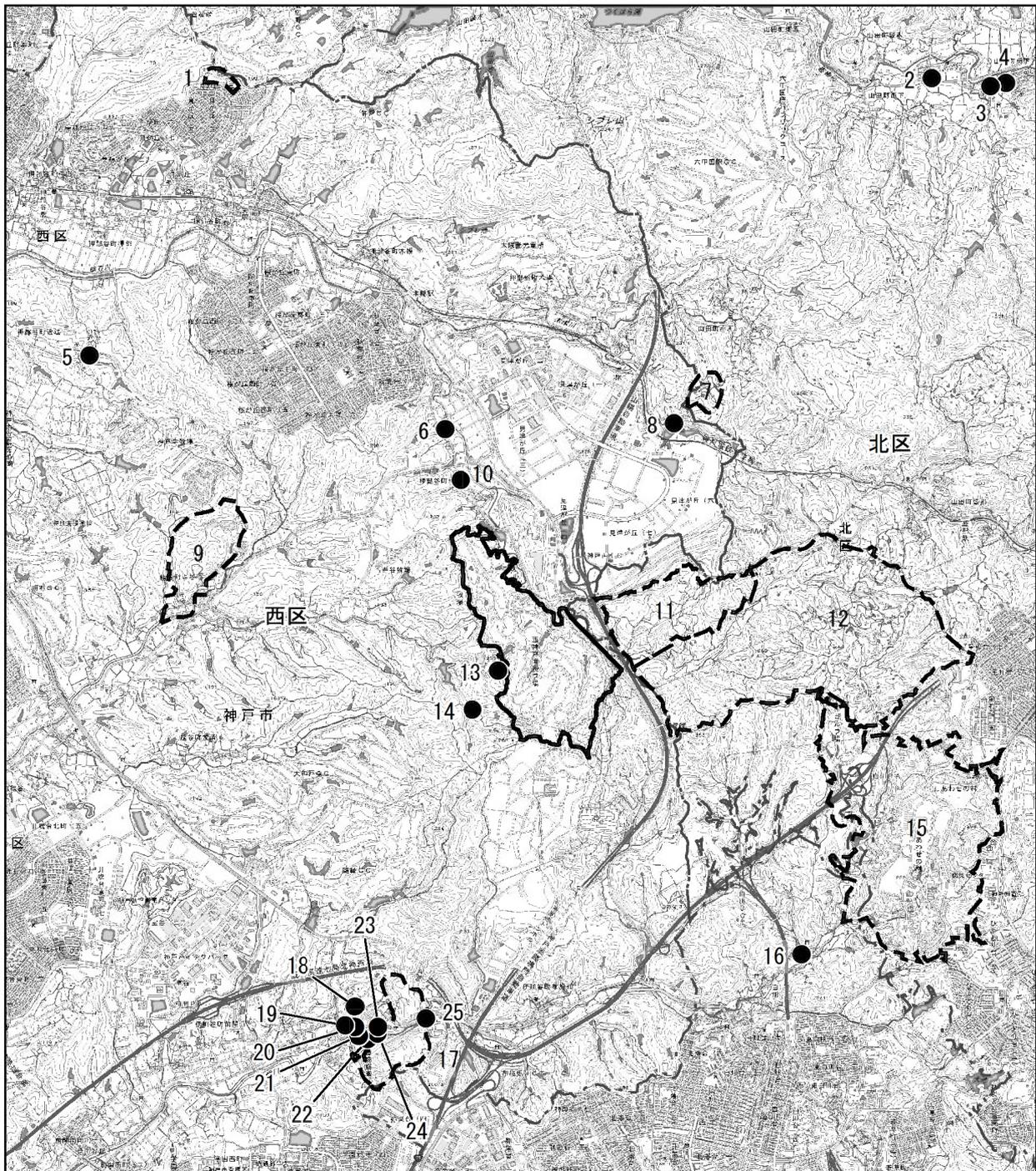
番号	名称	概要	出典
12	国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園	明石海峡大橋を中心とした周辺地域の広域レクリエーションに対応するため設置された国営公園。公園の基本理念は「自然と人との共生、人と人との交流」。神戸地区“あいな里山公園”のコンセプトは「里地里山文化公園」。地域の里地里山の景観を保全再生し、大都市近郊で誰もが気軽に里地里山文化を体験できる公園として、平成28年5月28日に第1期開園を迎えた。春には桜、秋には紅葉が見ごろとなる。	⑧
13	仏谷洞窟	神戸市内最大の洞窟であり、木見断層の崖の下部が崩れて出来た巨大な岩ひさしで、11体の仏像が安置されている。	④
14	堂屋敷洞窟	寺谷地区の東南端に樋谷川の源流、岩淵池があり、さらにその奥の堂屋敷の最奥部にある洞窟で、その頂上付近にはハイキングコース“太陽と緑の道”が通る。洞窟の入口は高さ1.5m、幅2m、奥行きは約15m程あり、奥に行くほど広がっている。最奥には祭壇があり、数体の地蔵が祀られ、その横には白蛇も祀られている。	⑨
15	しあわせの村	205ヘクタールの広大な敷地内には、自然を十分に生かしながら、高齢者・障がい者の自立を援助する福祉施設をはじめ、運動広場、芝生広場、キャンプ場など、多種類の屋外スポーツ施設、レクリエーション施設、宿泊施設、温泉施設などがある。芝生広場や日本庭園にはサクラが存在する。	⑩
16	白川の石抱きカヤ	神戸市指定記念物（天然記念物）、兵庫県郷土記念物及び神戸市民の木に指定されている。樹高は約16mで、根にエノキの小高木及び石塔を抱いていることから、石抱きカヤと呼ばれ地域のシンボルとなっており、周辺住民の信仰対象として、しめ縄が巻かれている。	②、③
17	太山寺の原生林	明石川の支流、伊川の上流にあって、面積約11ヘクタールを占める暖帯常緑広葉樹林と落葉樹林の混生林である。兵庫県の天然記念物に指定されており、「兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2011（地形・地質・自然景観・生態系）」（兵庫県、平成23年）においてランクBの自然景観に選定されている。	⑤
18	歓喜院庭園	神戸市指定記念物（名勝）に指定されている。本堂書院に面して開けた庭園は、成就院の庭園と同様、天一によって作庭されたといわれており、背後の原生林を借景とした築山式枯山水庭園となっている。	②、③
19	太山寺仁王門	国指定重要文化財（建造物）に指定されている。仁王門は、太山寺への参道の入口に建ち、室町時代中期の建造といわれている。	②、③
20	龍象院本堂	神戸市登録文化財（建造物）に指定されている。龍象院は、太山寺の山門から本堂へ至る参道の北側に位置し、石垣土塀に囲まれた敷地内に建ち、茅葺の伝統的な景観を留めている。	②、③
21	太山寺成就院 庭園	兵庫県指定記念物（名勝）に指定されている。枯滝の三尊石及び亀島を持つ枯池を中心とした枯山水様式の庭園。	②、③

表5. 2-27(3) 景観資源

番号	名称	概要	出典
22	安養院庭園	国指定記念物(名勝)に指定されている。太山寺の塔頭の一つ安養院の庭園は、県下最古の名園といわれ、作庭時期は安土桃山時代と考えられている。枯山水の庭園で、石組や作庭技術が優れ、空間を巧みに修景した庭園構成は、極めて完成度の高いものといえる。	②、③
23	太山寺本堂	鎌倉時代後期(1300年頃)の建立と考えられている本堂は、市内で唯一の国宝の建造物。平平面は密教本堂式と呼ばれる形態で、入母屋造、銅版葺の造りとなっている。	②、③
24	太山寺三重塔	兵庫県指定重要文化財(建造物)に指定されている。棟札の記載によると、貞享5年4月に再建されたもので、江戸中期のものとしては、中世以来の古い様式を保った塔。	②、③
25	太山寺磨崖不動明王	神戸市指定記念物(史跡)に指定されており、太山寺の東を流れる伊川の上流約300mの左岸にある。花崗岩の岩面がやや平坦になった部分に刻まれ、対岸の旧道から見る事ができる。	②、③
26	木見地区	高低差が少しあり、景色に変化のある素晴らしい農村景観である。シンボルツリーとして大歳神社のスギの木がある。	④
27	西下地区	西下地区に広がる棚田は、市内有数の田園風景であり、希少生物が生息する生物多様性に富んだエリアである。	⑪
28	小河地区	都市近郊の自然環境に恵まれた閑静な地域に位置し、交通量の多い道路やアパート群と隔絶された静かな田園風景は、まさに「神戸の奥座敷」ともよべるものである。	⑫
29	高和地区	四季を通じて水稻が美しい景観を魅せてくれ、特に夏場は、一面に広がる緑が、非常に美しい。	⑬
30	友清地区	ニュータウンに隣接し、交通量の多い幹線道路にも面して立地する集落であるが、谷の口が狭く、奥の深い谷に立地しているために桃源郷とも言える平穏で豊かな田園風景が守られている。	⑭

注) 表中の番号は図5. 2-13に対応している。なお、26～30については文献に詳細な位置が記載されていないため、図示していない。

- 出典) ①「神戸の公園ナビ」(神戸市公園緑化協会ホームページ、令和3年11月現在)  
 ②「神戸市文化財情報」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
 ③「神戸市内の指定文化財」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
 ④「木見里づくり計画『里・街・緑 木見の未来へ』」(木見里づくり協議会、平成21年)  
 ⑤「兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2011(地形・地質・自然景観・生態系)」(兵庫県、平成23年)  
 ⑥「景観形成重要建築物等」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
 ⑦「キーナの森 森林保全活動支援業務報告書」( (公財) ひょうご環境創造協会、令和3年)  
 ⑧「国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園」(あいな里山公園ホームページ、令和3年11月現在)  
 ⑨「豊かな自然と快適な生活を支える 寺谷里づくり計画」(寺谷里づくり協議会、平成10年)  
 ⑩「しあわせの村」(しあわせの村ホームページ、令和3年11月現在)  
 ⑪「西下里づくり計画」(西下里づくり協議会、令和2年)  
 ⑫「小河里づくり計画」(小河里づくり協議会、平成13年)  
 ⑬「高和里づくり計画書「農を考え、村を想い、美しい景観を保ち、人を育てる」」(高和里づくり協議会、平成23年)  
 ⑭「友清里づくり計画」(友清里づくり協議会、平成12年)



注) 番号は表5. 2-27に対応している。



事業実施区域 出典) 「神戸の公園ナビ」(神戸市公園緑化協会ホームページ、令和3年11月現在)



景観資源

「神戸市文化財情報」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

「兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2011

(地形・地質・自然景観・生態系)」(兵庫県、平成23年)

「木見里づくり計画『里・街・緑 木見の未来へ』」(木見里づくり協議会、平成21年)

「豊かな自然と快適な生活を支える 寺谷里づくり計画」(寺谷里づくり協議会、平成10年)

「景観形成重要建築物等」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

「キーナの森 森林保全活動支援業務報告書」( (公財) ひょうご環境創造協会、令和3年)

「国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園」

(あいな里山公園ホームページ、令和3年11月現在)

「しあわせの村」(しあわせの村ホームページ、令和3年11月現在)



1:50,000



図5. 2-13 景観資源

## (2) 主要な眺望点

事業実施区域及びその周囲における主要な眺望点は、表5. 2-28及び図5. 2-14に示すとおりである。

表5. 2-28(1) 主要な眺望点

番号	名称	概要	出典
1	つくはら湖展望台	北区山田町～西区神出町を通る神出山田自転車道のうち、つくはら湖畔に位置する展望台。	①
2	月が丘公園	事業実施区域北西部に位置する月が丘公園内の展望台。	②
3	「太陽と緑の道」コース 27 太山寺～木津	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。太山寺から木津駅に至るコース。	③④⑤ ⑥⑦
4	「太陽と緑の道」コース 27 太山寺～木津	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。太山寺から木津駅に至るコースのうち、既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	③⑤
5	「太陽と緑の道」コース 27 太山寺～木津	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。太山寺から木津駅に至るコースのうち、既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	③⑤
6	「太陽と緑の道」コース 27 太山寺～木津	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。太山寺から木津駅に至るコースのうち、既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	③⑤
7	「太陽と緑の道」コース 22 藍那～大歳神社	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。大歳神社から藍那駅に至るコース。	③④
8	「太陽と緑の道」コース 22 藍那～大歳神社	神戸の豊かな自然を気軽に散策し、人と自然のふれあいを図ることを目的に設定された自然歩道。大歳神社から藍那駅に至るコースのうち、既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	③④
9	木幡駅	木津川と木見川の合流する場所で、西神戸ニュータウンの北側に位置する。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑥
10	押部谷町木津	神戸電鉄粟生線の北側斜面で「太陽と緑の道」沿いに位置する。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑥
11	西神戸ニュータウン	事業実施区域の周辺において、最も大規模なニュータウンである。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑥
12	西神戸ニュータウン	事業実施区域の周辺において、最も大規模なニュータウンである。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④⑦
13	木見大橋西詰交差点 (神戸三木線)	神戸三木線と明石木見線との交差点である。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑥
14	木津磨崖仏	ハイキングコース沿いに存在。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④⑥⑦
15	水呑木津線	事業実施区域周辺の道路。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
16	端谷城跡	標高 140m の本丸からは眺望に優れ、衣笠氏が支配した樋谷の谷筋を見通すことができる。	⑧
17	事業実施区域東部	事業実施区域東部の標高 210m の地点にある平坦地。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑤
18	神戸三木線	事業実施区域周辺の道路。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑤
19	水呑木見線	事業実施区域周辺の道路。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④

表5. 2-28(2) 主要な眺望点

番号	名称	概要	出典
20	水呑木見線	事業実施区域周辺の道路。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
21	山田町藍那南端	地元住民の生活の場。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
22	神戸三木線	事業実施区域周辺の道路。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
23	国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園	明石海峡大橋を中心とした周辺地域の広域レクリエーションに対応するため設置された国営公園。あいな里山公園園内の最も高い地点である。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
24	星和台団地	事業実施区域東部約3kmの星和台団地西端の道路上の視点。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑤
25	星和台7丁目	地元住民の生活の場。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
26	徳川道	事業実施区域南東部約2kmの地点を白川方面から藍那方面へ抜ける徳川道の最も標高の高い地点。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	⑤
27	しあわせの村	205ヘクタールの広大な敷地内には、自然を十分に生かしながら、高齢者・障がい者の自立を援助する福祉施設をはじめ、運動広場、芝生広場、キャンプ場など、多種類の屋外スポーツ施設、レクリエーション施設、宿泊施設、温泉施設などがある。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
28	北神戸線	事業実施区域周辺の道路。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
29	ひよどり台	地元住民の生活の場。既存の環境影響評価事例において眺望点とした地点。	④
30	太山寺及びその周辺	境内の内外には原生林が残り、春は桜、秋は紅葉の名所として知られている。背後には六甲山系の代表的な植生が見られる原生林が残り、優れた景観を有している。	⑨
31	五芝園展望台	太山寺の眺望が楽しめる五芝園展望台は、訪れる市民のみならず、集落住民にも親しまれている場所である。	⑩

注) 表中の番号は図5. 2-14に対応している。

出典) ①「神出山田自転車道」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

②「神戸の公園ナビ」(神戸市公園緑化協会ホームページ、令和3年11月現在)

③「自然歩道「太陽と緑の道」」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

④「神戸国際港都建設計画 西神第3地区工業団地造成事業(神戸複合産業団地)の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」(兵庫県・神戸市、平成11年)

⑤「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和56年)

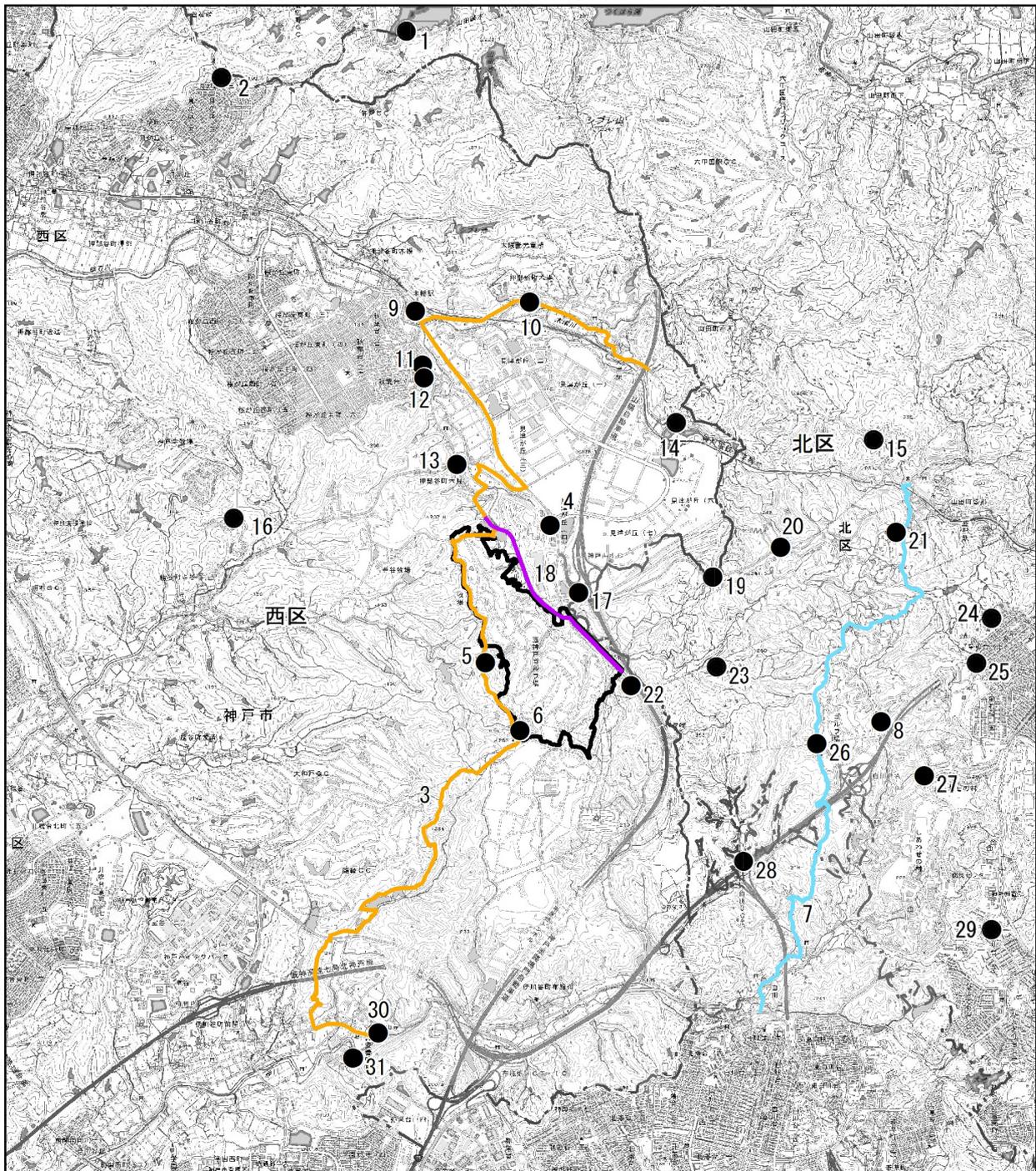
⑥「神戸複合産業団地建設事業環境影響評価書」(神戸市、昭和63年)

⑦「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」(兵庫県、平成3年)

⑧「神戸市文化財情報」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

⑨「文化財一覧-太山寺及びその周辺」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

⑩「前開上里づくり計画 四季菜彩」(前開上里づくり協議会、平成16年)



注) 番号は表5. 2-28に対応している。

- 事業実施区域
- 主要な眺望点
- 主要な眺望点
- 主要な眺望点

- 出典) 「神出山田自転車道」 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
「神戸の公園ナビ」 (神戸市公園緑化協会ホームページ、令和3年11月現在)  
「自然歩道「太陽と緑の道」」 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
「神戸国際港都建設計画 西神第3地区工業団地造成事業 (神戸複合産業団地) の変更及び20世紀博物館群公園事業環境影響評価書案」 (兵庫県・神戸市、平成11年)  
「舞子ゴルフ場代替施設建設事業環境影響評価書」 (神戸市、昭和56年)  
「神戸複合産業団地建設事業環境影響評価書」 (神戸市、昭和63年)  
「西神流通業務団地及び西神第3地区工業団地造成事業環境影響評価書」 (兵庫県、平成3年)  
「神戸市文化財情報」 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
「文化財一覧-太山寺及びその周辺」 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
「前開上里づくり計画 四季菜彩」 (前開上里づくり協議会、平成16年)



図5. 2-14 主要な眺望点

## 5.2.9. 文化環境

### (1) 指定文化財

事業実施区域及びその周囲における「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)、「兵庫県文化財保護条例」(昭和39年4月1日兵庫県条例第58号)及び「神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例」(平成9年3月31日神戸市条例第50号)に基づく指定文化財は、表5.2-29及び図5.2-15に示すとおりである。

表5.2-29 指定文化財

種別	指定区分	種類	名称	所在地	指定年月日
記念物	市指定	史跡	木津の六地藏磨崖仏	西区押部谷町木津	平成11年2月24日

出典) 「神戸市文化財情報」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

「神戸市内の指定文化財」(神戸市ホームページ、令和3年11月現在)

### (2) 埋蔵文化財

事業実施区域及びその周囲における「文化財保護法」に基づく埋蔵文化財は、表5.2-30及び図5.2-15に示すとおりである。

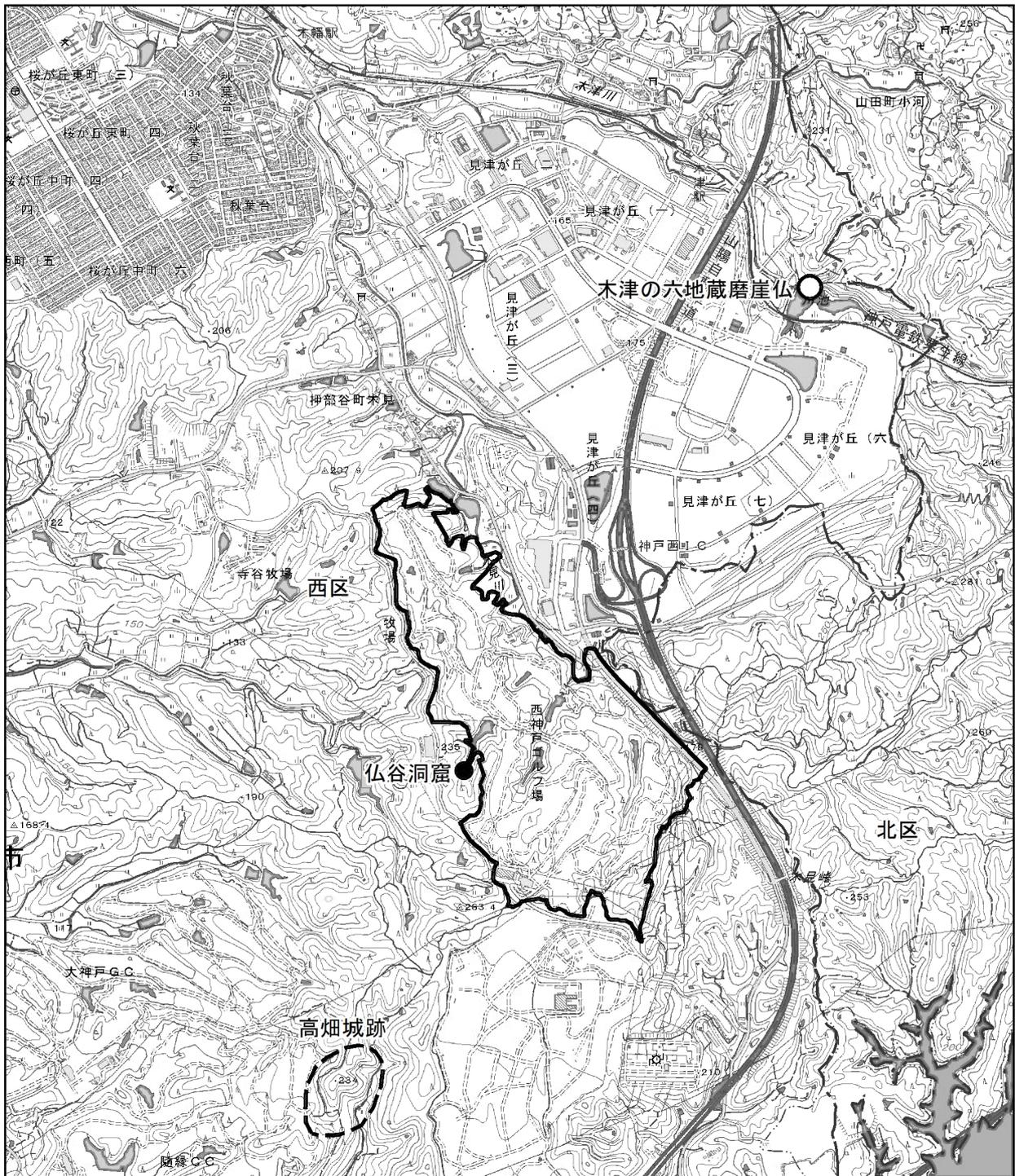
表5.2-30 埋蔵文化財

遺跡名	所在地	時代	種類
高畑城跡	西区伊川谷町前開	中世	城館跡

出典) 「神戸市の埋蔵文化財」(神戸市の埋蔵文化財ホームページ、令和3年11月現在)

### (3) その他の文化財

事業実施区域及びその周囲においては、その他の文化財として、図5.2-15に示すとおり仏谷洞窟がある。



- 事業実施区域
- 指定文化財
- 埋蔵文化財
- その他の文化財

出典) 「神戸市文化財情報」 (神戸市ホームページ、令和3年11月現在)  
「神戸市の埋蔵文化財」  
(神戸市の埋蔵文化財ホームページ、令和3年11月現在)



図5.2-15 文化財の状況